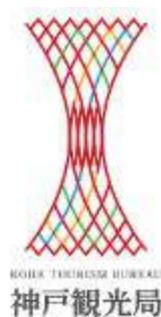


# 神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年9月号)

2023年9月26日



## 1. 今月のトピックス

- ・観光庁予算 2024年度概算要求の概要 . . . . . P.3～6
- ・国内観光 OTAモニタリング2023年上半期報告 . . . . . P.7～11
- ・神戸市実施 2022年（令和4年）観光入込客数・観光動向調査 . . . . . P.12～14
- ・神戸観光局SNS情報 . . . . . P.15
- ・今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング . . . . . P.16～18

## 2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～

- ・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県）[推計値] . . . . . P.20～21
- ・ホテル平均稼働率 . . . . . P.22

## 3. インバウンドに関する情報

- ・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況 . . . . . P.24～25
- ・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～マレーシア～ . . . . . P.26

## 4. 交通機関に関する情報

- ・関西国際空港・神戸空港の利用状況 . . . . . P.28
- ・関空国際線就航状況・入国状況 . . . . . P.29
- ・クルーズ船寄港状況 . . . . . P.30
- ・クルーズ船 10月の入港予定情報 . . . . . P.31

## 5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～

- ・市内観光案内所 観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況 . . . . . P.33～35
- ・主要市内観光施設来場者数 . . . . . P.36
- ・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館） . . . . . P.37
- ・神戸市内大型施設の主な催事情報（10～11月） . . . . . P.38

- 参考資料集 . . . . . P.39～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。  
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります、内容によって取扱い月が異なります。



# 今月のトピックス

---

# 観光庁予算 2024年度概算要求の概要 ①

## 2024年度 概算要求発表

- ・8月24日 観光庁が2024年度予算の概算要求をまとめた。2023年度比約2倍となる670億円を要求。
- ☞ 概算要求の内容を見て、今後観光庁が募集するであろう補助金や、力を入れていく事業を先読み！

## 2024年度 概算要求総括表

	令和6年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
(1) 持続可能な観光地域づくり	16,264	3,682	4.42
地域における受入環境整備促進事業	1,896	1,643	1.15
観光地・観光産業における人材不足対策事業	400	150	2.67
持続可能な観光推進モデル事業	217	150	1.45
観光DXを通じた先進的な観光地創出のためのモデル事業	900	900	1.00
通訳ガイド制度の充実・強化	79	66	1.19
健全な民泊サービスの普及	100	100	1.00
観光統計の整備	673	673	1.00
地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化 (注1)	12,000	-	-
(2) 地方を中心としたインバウンド旅客の戦略的取組	6,361	6,059	1.05
地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業	563	563	1.00
戦略的な訪日プロモーションの実施	5,518	5,240	1.05
MICE誘致の促進	210	180	1.17
双方向交流拡大に向けた各国政府観光局等との連携促進事業	70	20	3.50
地域の資源を生かした宿泊業等の食の価値向上事業	-	56	-
(3) 国内交流拡大	904	679	1.33
新たな交流市場・観光資源の創出事業	854	649	1.31
ユニバーサルツーリズム促進事業	50	30	1.67
(4) その他(経常事務費等)	583	552	1.06
合 計	24,112	10,973	2.20

(注1) 令和4年度第2次補正予算において措置した国家債務負担行為の歳出化予算を計上。

※ 本表における計数は、端数処理の関係で、合計した額と一致しない場合がある。

※ 本表における計数は、政府情報システムに係る経費(デジタル庁一括計上分)を含む。

	令和6年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
福島県における観光関連復興支援事業	500	500	1.00
ブルーツーリズム推進支援事業	435	270	1.61
合 計	935	770	1.21

	令和6年度 要求額 (A)	前年度 予算額 (B)	対前年度 倍率 (A/B)
国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開	42,000	19,731	2.13

※ 前年度予算額においては、上記のほか、三の丸尚蔵館の整備 3億円(宮内庁)についても、国際観光旅客税財源を充当。

出典：観光庁「令和6年度予算概算要求の概要」より

令和6年度 要求額合計：670億円  
前年度 要求額合計：315億円 **約2倍！！**

NEXT.....

■特に予算が増額されている事業や  
予算規模の大きい事業を一部だけご紹介.....

詳しい内容は、観光庁「令和6年度予算概算要求の概要」をご覧ください。  
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/yosan/content/001625323.pdf>

# 観光庁予算 2024年度概算要求の概要 ②

## ■ 持続可能な観光地域づくり



- ・ 喫緊の課題である観光業界の**人材不足対策**に2倍近い予算を投入し、観光産業の回復に取り組む
- ・ **持続可能な観光推進モデル事業**として、国際認証の取得等を通じたモデルケースを創出する実証を行う。
- ・ その他、受入環境整備や観光DXの推進などについて、引き続き取り組む。

※なお、「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化」に120億円を充てているが、これは今年度募集された同名事業（2023～2024年度の2か年にわたる高付加価値化のための施設改修等）における2024年改修分の予算計上であり、新たな公募ではない。

### 観光地・観光産業における人材不足対策事業

令和6年度予算額 400億万円  
(前年度予算額 130億万円)

**事業目的・背景・課題**

○宿泊業では観光需要の回復に伴い人手不足が顕著となっており、今後要する増加が見込まれる観光需要を着実に取り込み、旅行者数・旅行消費額等を増加させ、観光立国を実現するためにも、受け皿となる宿泊業の人手不足の解消が急務。  
○人手不足の解消に向け、採用活動支援等の足元の対策、機械化・DX推進のための設備投資支援等の短期的な対策、外国人材の活用、経路の高度化等の中長期的な対策など、あらゆるフェーズの人手不足対策を総合的に実施。

**事業内容**

①人材確保支援  
各地方ブロック単位での宿泊業特化型の就職説明会・マッチングイベントの開催、合同企業説明会への出展支援、採用HP・採用パンフレットの作成等の広報強化支援等、事業者の採用活動を全面的に支援

②人材活用効率化に向けた設備投資等支援  
人手をかけるべき業務に人材を集中投下し、サービス水準向上・質上げを実現するため、スマートチェックイン・アウト、配膳・清掃等ロボット、チャットロボット、予約管理システム（PMS）等の設備投資や、調理食提供業務の効率化のための食器洗浄機、春日型食器の効率化のためのベッド付客室への改修等の施設整備を補助

③外国語人材の確保  
特定技能試験の受験者を増やすためのジョブフェア等のPR活動、試験合格者の雇用のためのマッチングイベントの実施、観光地における外国語対応人材の確保等

④経路の高度化  
「観光人材育成カイトライン」に準拠した教育プログラムの開発・提供等、経路の高度化に向けた支援

**事業イメージ**

設備導入費用補助  
スマートチェックイン・アウト  
配膳ロボット  
チャットロボット  
外国人材の確保  
特定技能外国人材（前年度）

**事業スキーム**

- ・事業形態：①②③④併用補助事業（補助率500万円、補助率1/2）①④直轄事業
- ・補助対象：①②③④⑤国→民間事業者→宿泊事業者等 ③④民間事業者
- ・事業期間：①②令和6年度～③令和元年度～④令和5年度～

詳細は各地方庁・観光庁 観光産業課 電話：03-5261-8667

### 持続可能な観光推進モデル事業

令和6年度予算額 376億万円  
(前年度予算額 150億万円)

**事業目的・背景・課題**

○持続可能な観光に世界的な関心が高まる中、インバウンドの創進と国内交流拡大の双方を支援、我が国が旅行先として選ばれるためにも持続可能な観光推進は喫緊の課題。  
○日本版持続可能な観光カイトライン（JSTS-D）の実証を通じた観光GXや自然環境・地域資源の保全・活用等に関する取組を推進し、国際認証の取組等を通じたモデルケースを創出するとともに、地域の持続可能な観光計画の策定を支援する。

**事業内容**

①【調査事業】地方公共団体等が地域の観光関係者と連携し、観光地のGX化や地域の自然・文化・産業等の保全・活用の推進等、地域の持続可能性の向上に資するモデル実証を行う。

②【補助事業】地域における持続可能な観光計画の策定を支援する。

**事業イメージ**

観光GX・環境防災  
地域資源(文化・伝統)の活用  
自然環境・産業等の保全・活用の推進等  
地域資源の活用による観光の振興  
自然環境の保全・活用による観光の振興

**地域の持続可能な観光計画の策定**

①調査事業  
②補助事業

**事業スキーム**

- ①事業形態：調査事業 ※対象：JSTS-DのDX推進実証を行っている、又は認定に事すると認められる地方公共団体（PMDA等）
- ②事業形態：持続補助事業（補助率1/2）上限500万円  
補助対象事業者：地方公共団体（PMDA）等
- 事業期間：令和6年度～

詳細は各地方庁・観光庁 内務観光課 電話：03-5261-8677

## ■ 地方を中心としたインバウンド誘客の戦略的取組



- ・戦略的な訪日プロモーションとして、大阪・関西万博を契機とした日本各地への誘客促進のプロモーションを行う。インバウンド誘客関連の9割近くを占める予算規模。
- ・「インバウンド」だけでなく、「アウトバウンド」の回復にも力を入れることで、イン・アウトの両輪で双方向交流の拡大に向けた取組を進める。
- ・その他、MICE誘致の促進や、地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進などに取り組む。

### 戦略的な訪日プロモーションの実施

令和6年度概算要求 3,518億円内 (前年度予算額 3,247億円内) 観光庁

**事業目的・背景・課題**

○個人旅行再開等の水増し効果の緩和は、インバウンドは回復傾向にあるが、未だコロナ前の水準には及んでいない状況。  
○観光立国推進基本計画（KSL推進計画）に定める新たな目標の達成。2025年大阪・関西万博開催を契機とした日本各地の魅力発信に向けて、持続可能な観光、消費拡大、地方誘客促進をキーワードとし、国・地域ごとのコースを踏まえた効果的なプロモーションに取り組む必要がある。

**事業内容**

○日本政府観光局（JNTO）を通じて、コロナ禍を経た旅行者の意識変化を踏まえながら、国・地域別の戦略等に基づき、メディアやSNS、インフルエンサー等を活用し、戦略的な訪日プロモーションを実施する。

【令和6年度におけるプロモーションの取組】  
2025年に開催を控える大阪・関西万博を契機とし、日本各地への誘客を促進するプロモーションなど、下記の取組を実施。

①市場別プロモーション  
例) 海外市場を重点とした多言語版プロモーション、アジア市場のヒビトターゲティングの大型ターゲティング等

②テーマ別プロモーション  
例) 持続可能な観光の推進、異文化理解の啓発プロモーション等

③インバウンド誘客に向けた環境・基盤整備  
例) 航空会社との共同広告を通じた地味効果の促進、寄居等の促進、デジタルマーケティングを活用したプロモーションの高度化等

**事業イメージ**

ウェブサイトをオンライン広告による情報発信  
SNS投稿による情報発信

旅行会社の協賛によるツアー企画実施  
異業種によるネットワーキング

**事業スキーム**

事業形態：交付金 交付先：JNTO  
お問い合わせ先：観光庁 国際観光課 電話：03-6220-9121

### 双方向交流拡大に向けた各国政府観光局等との連携促進事業

令和6年度概算要求 20億円内 (前年度予算額 20億円内) 観光庁

**事業目的・背景・課題**

○観光立国推進基本計画において、「訪日外国人旅行者数が令和7年までに令和元年水準（3,188万人）を超え、日本人海外旅行者数が令和7年までに令和元年水準（2,008万人）を超え」を目標としている。しかしながら、アウトバウンドはインバウンドに比べ回復が遅れており、イン・アウトの両輪で双方向交流拡大に向けた取組が必要である。

○特に、アウトバウンド政策パッケージにおける当該の重点分野（海外への日本からのアウトバウンド）の早期回復に向け、実効性のある取組が必要である。

○他方、若年層の国際感覚の向上と共に中長期的な双方向交流の活性化につながる海外教育旅行について、官民連携の下、効果の高いプログラムの開発・普及により、裾野拡大・定着を図る。

**事業内容**

1. 双方向交流促進に資する連携体制の強化

重点分野（海外への日本からのアウトバウンド）の各国・地域の政府観光局等と連携体制を強化し、それぞれが持つ強みや課題を踏まえた共同プロモーション等を相手国・地域ごとに実施することにより、効果的な海外旅行の誘客促進の促進や、旅行コースに即した海外旅行商品の開発を図る。

2. 海外教育旅行の更なる促進

従来のSDGの教育や指定学習型など学校教育の新規導入を盛り込んだ付加価値の高い海外教育旅行プログラム開発に加え、旅行会社、学校関係者及び各国・地域の政府観光局等が連携し、現地ならではのコンテンツを組み込んだ海外教育旅行プログラムの開発及び検証を行い、これらを多角的な普及及び効果活動を通じて広く展開する。

**事業イメージ**

双方向交流促進に資する連携体制の強化

観光庁 ↔ 海外政府観光局等

観光庁 ↔ 旅行会社

観光庁 ↔ 海外教育旅行の更なる促進

**事業スキーム**

事業形態：直接事業 交付先：民間事業者 事業期間：令和6年度～令和7年度  
お問い合わせ先：観光庁 国際観光課 電話：03-6220-9121

## ■ 国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開

- ・ 本格的なインバウンドの回復を見据えて、国際観光旅客税を財源とする施策に対し、前年の2.1倍に上る**420億円**を計上。
- ・ コロナ前の2020年度概算要求時（2019年8月28日発表）は520億円  
⇒ **2024年度はコロナ前比8割程度の回復を見込んでいる**ものと推察される。
- ・ 具体的な施策については現時点で未定であるものの、予算規模が大きいことから、続報を注視する必要あり

### 国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開

令和6年度要求額：42,000百万円

- 令和6年度に国際観光旅客税の収収を充当する施策については、「国際観光旅客税の使途に関する基本方針等について」（令和4年12月23日観光立国推進閣僚会議決定）に基づき、既存施策の財源の単なる穴埋めをするのではなく、①受益と負担の関係から負担者の納得が得られること、②先進性が高く費用対効果が高い取り組みであること、③地方創生をはじめとする我が国が直面する重要な政策課題に貢献することを基本的な考え方とし、特に新規性・緊急性の高い施策に充てる。
- なお、具体的な施策・事業については、硬直的な予算配分とならず、常に上記の考え方を満たすものとなるべく、**毎年度洗い替え**が行えるよう、民間有識者の意見も踏まえつつ検討を行い、予算を編成する。

(以下は令和5年度事業の例示)

1. ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備
- ・ 最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現等
  - ・ ICT等を活用した多言語対応、AIチャットボットの導入等
  - ・ 公共交通利用環境の革新等
  - ・ 旅行安全情報共有プラットフォームを通じた旅行者の安全の確保 等



電子申告ゲートの利便性向上



保安検査におけるスマートレーンの導入促進

2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化
- ・ インバウンドの回復に向けた戦略的な訪日プロモーションの実施
  - ・ MICE誘致のためのコンベンションビューロー機能高度化支援



航空会社との共同広告



海外MICE見本市における日本ブース

3. 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上
- ・ 世界に誇る観光地を形成するための観光地域づくり法人（DMO）の体制整備
  - ・ 新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化等
  - ・ 文化財や国立公園等に關する多言語解説の整備
  - ・ 文化財や国立公園等を活用したインバウンドのための環境整備 等



文化遺産の活用



国立公園の環境整備



歴史的資源の活用

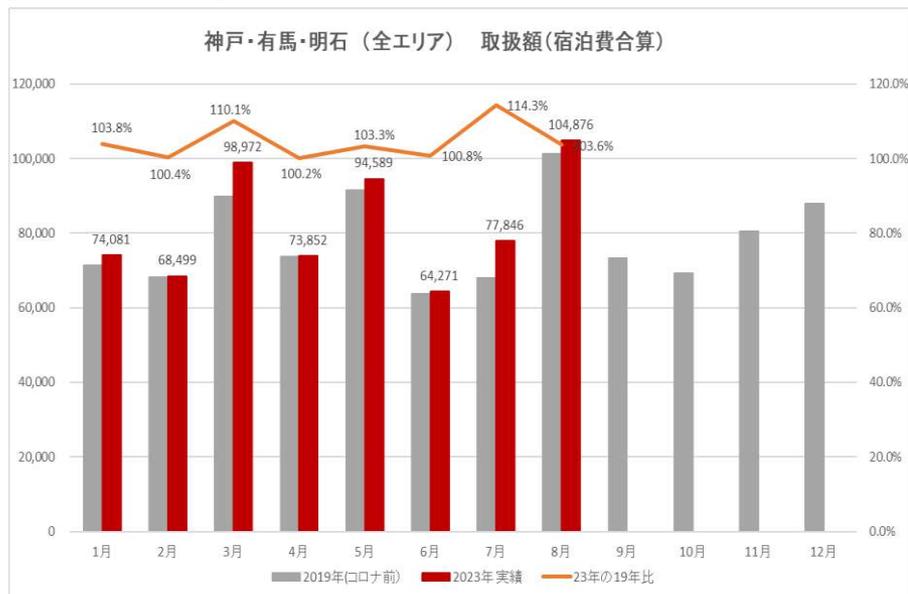
## OTA 2023年上半期報告まとめ

- 2023年上半期、神戸の国内観光におけるOTA実績について、**取扱額（＝人泊数×客単価）は堅調に推移し、全ての月で2019年比で上回った。**このことから、**国内旅行はコロナ前と同等の市場規模に回復した**と言える。
- ただし、**人泊数**については、**宿泊施設の人材不足などを理由とした稼働制限**なども一部にみられ、特に前半は、人泊数が2019年比を下回る月が散見された。
- 一方で、**客単価は特に有馬エリアでは顕著に上昇**しており、それが取扱額の向上に貢献した。

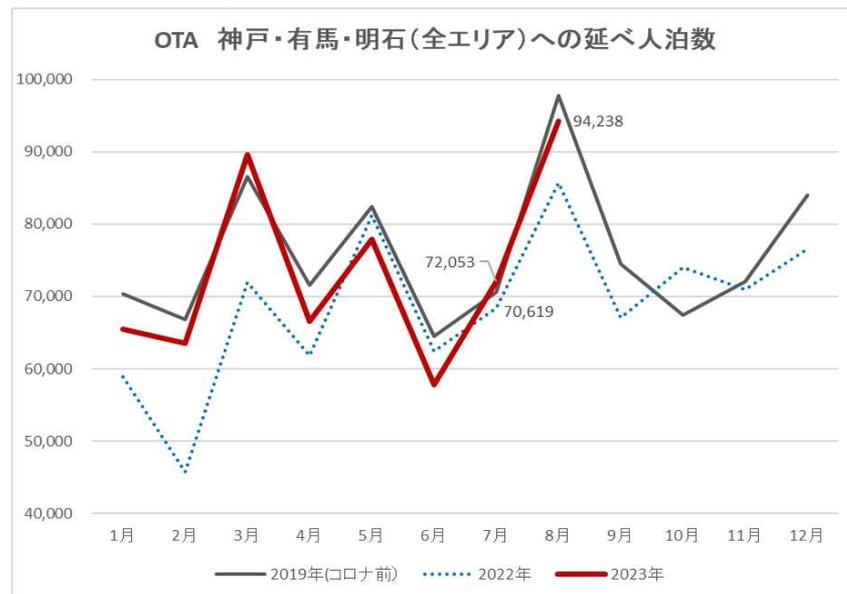
2023年－2019年比		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		(2022-2019比)		(2022-2019比)		(2022-2019比)		(2022-2019比)		(2022-2019比)		(2022-2019比)	
全市	取扱額	103.8%	(82.8%)	100.4%	(61.3%)	110.1%	(74.7%)	100.2%	(80.2%)	103.3%	(96.5%)	100.8%	(97.3%)
	人泊数	93.0%	(83.7%)	95.0%	(68.4%)	103.5%	(83.0%)	93.1%	(86.4%)	94.5%	(98.5%)	89.6%	(96.8%)
市街地	取扱額	108.5%	(80.8%)	109.5%	(59.3%)	115.8%	(71.5%)	109.7%	(84.5%)	102.4%	(92.0%)	100.8%	(95.8%)
	人泊数	97.3%	(85.7%)	104.4%	(71.0%)	109.4%	(90.2%)	100.8%	(96.8%)	97.8%	(101.8%)	92.4%	(100.4%)
有馬	取扱額	97.5%	(83.5%)	93.0%	(63.4%)	102.2%	(80.3%)	89.3%	(80.2%)	106.2%	(107.9%)	96.9%	(97.2%)
	人泊数	85.5%	(77.3%)	87.8%	(61.8%)	95.8%	(79.6%)	79.6%	(78.3%)	96.1%	(102.8%)	81.2%	(86.4%)

※全市の取扱額は、全月でコロナ前超。国内旅行はコロナ前と同等に回復した。

### 【取扱額推移】



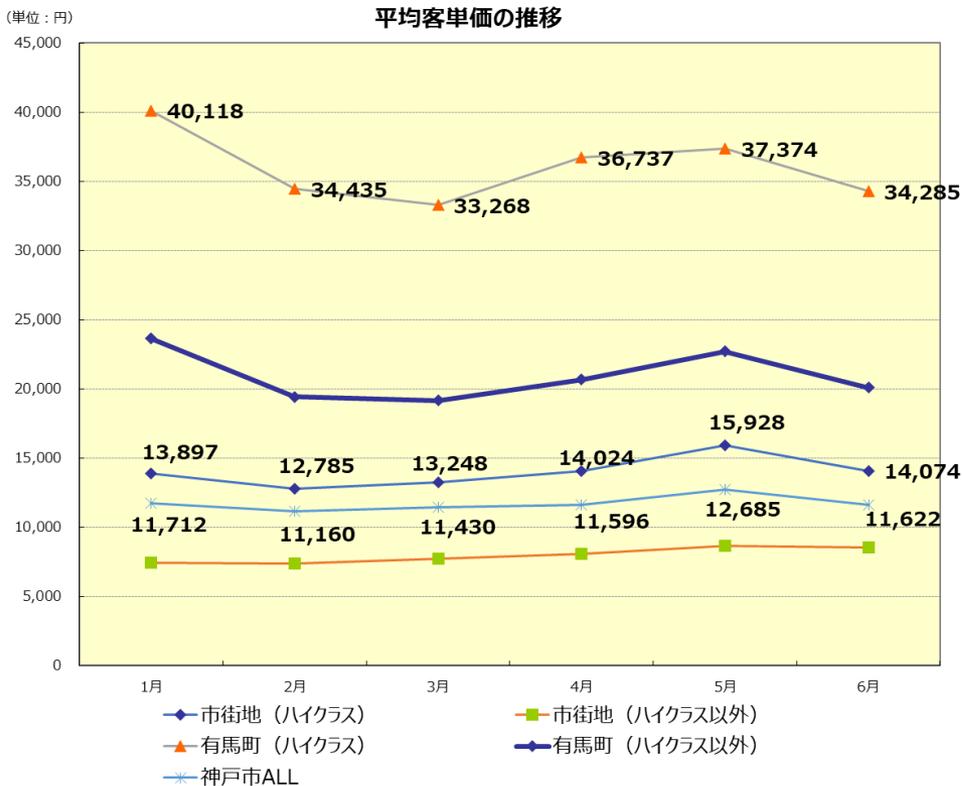
### 【人泊数推移】



※ 上記グラフは、[16ページ](#)～「今月の注目数字」にも掲載しています

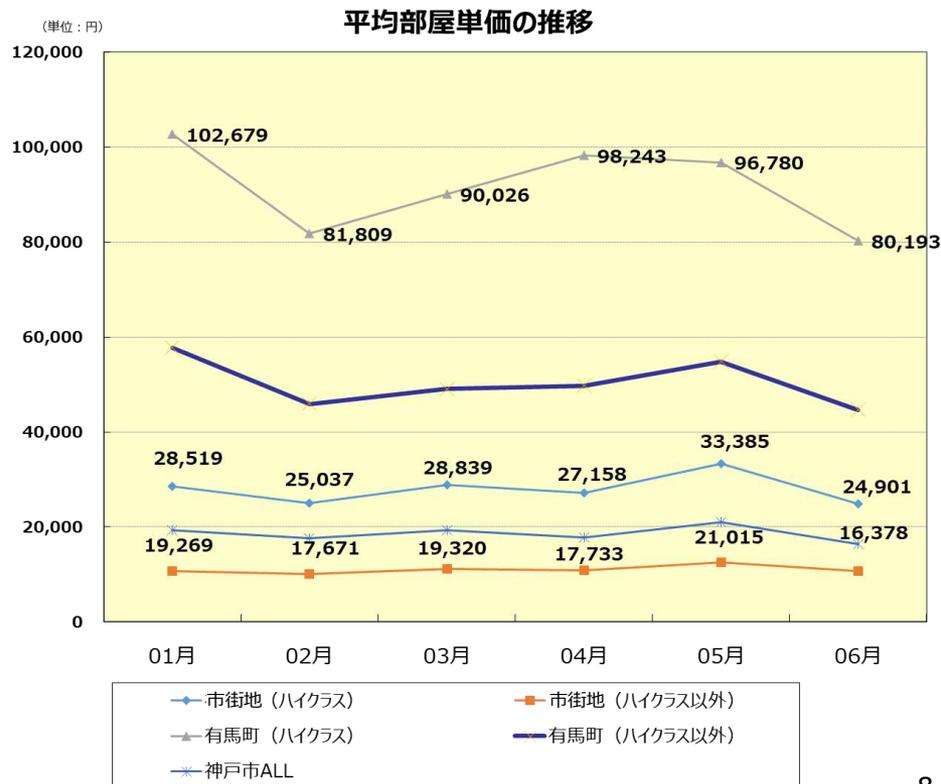
## ■ 高単価な状況が続いている

・ 物価高騰、人手不足などの影響もあり、平均単価の高止まりが続いている。



(注意) 有馬以外のエリアを便宜上「市街地」と表記しています。

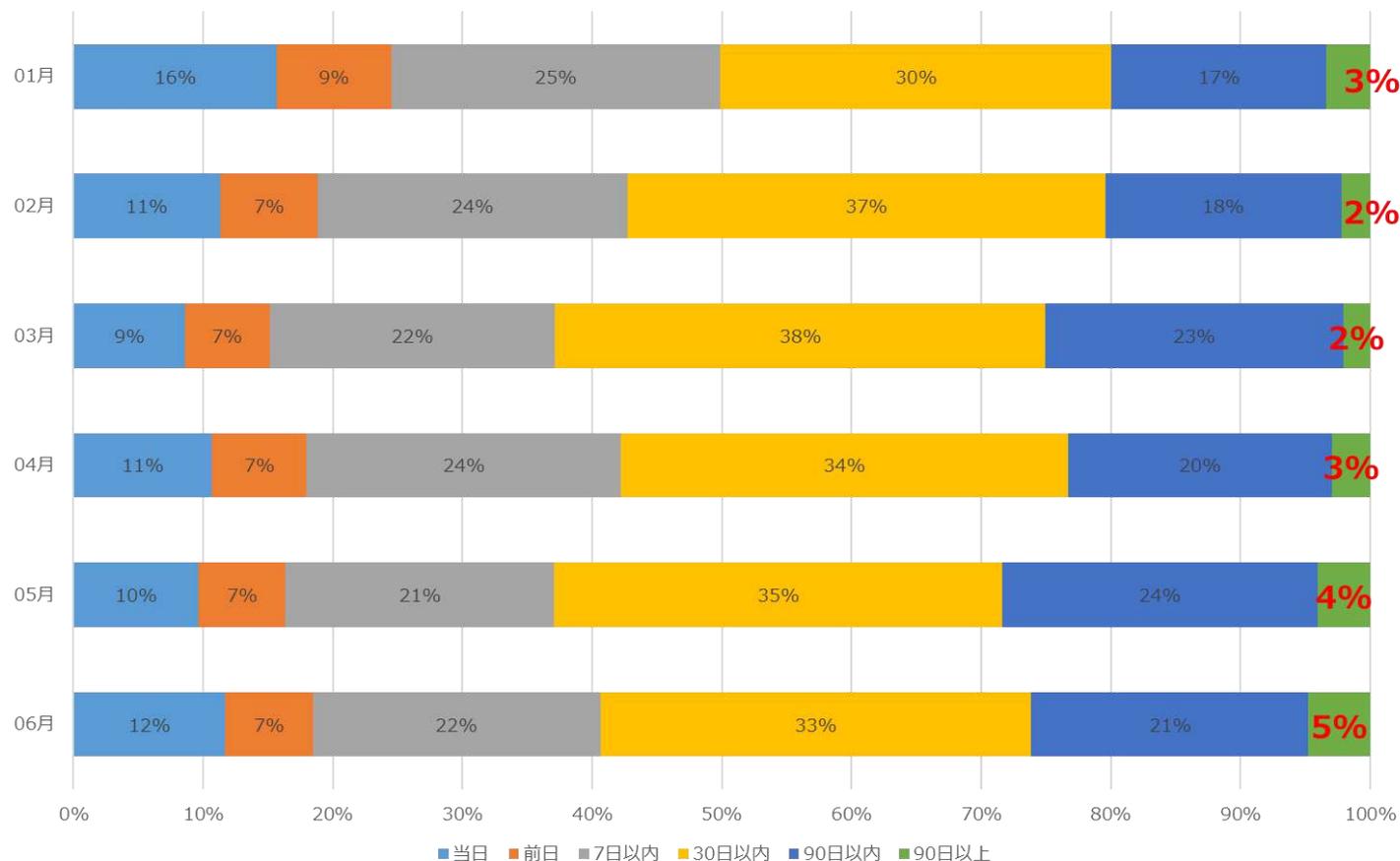
- 平均客単価は、神戸市全体では約11,500円～約12,700円で推移。
- ちなみに、2019年の年間平均客単価（当時の速報値実績）が約10,300円であったことを考えると、約10～12%程度上昇
- 平均部屋単価は、神戸市全体では約17,700円～約21,000円で推移。
- 市全体の平均客単価の推移を踏まえると、神戸市全体では、シングル利用者が多いことが伺える。



## ■ 予約までのリードタイムが伸びつつある

- ・コロナ5類化後、少しずつではあるが、90日以上前から予約する方が増えてきており、リードタイムが伸びつつあることが感じられる。

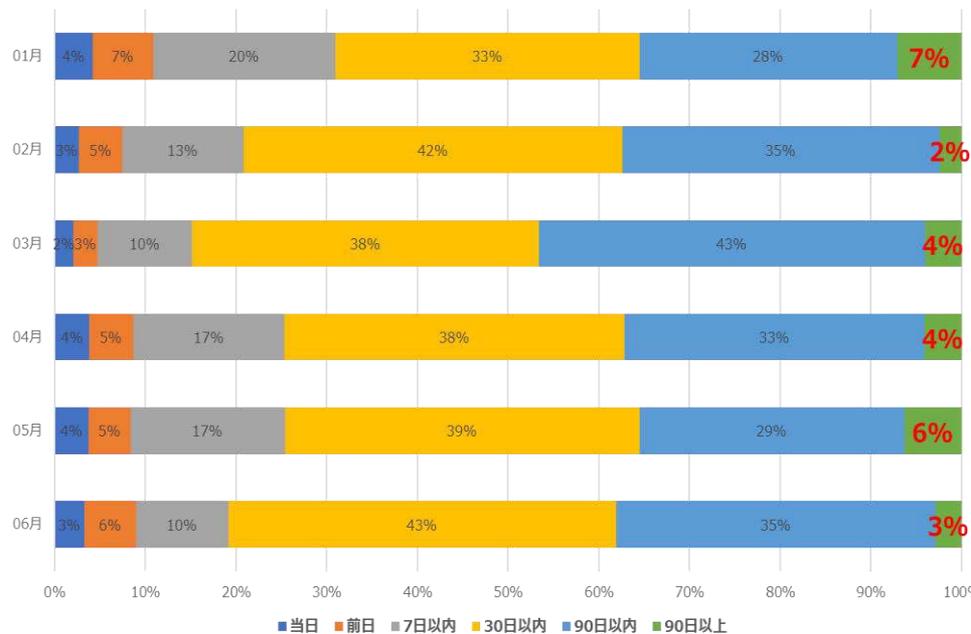
### 予約から宿泊までの日数 神戸市ALL



[18ページ](#) 「OTAモニタリング 予約状況」においても、徐々にリードタイムの伸びが予約に表れてきている

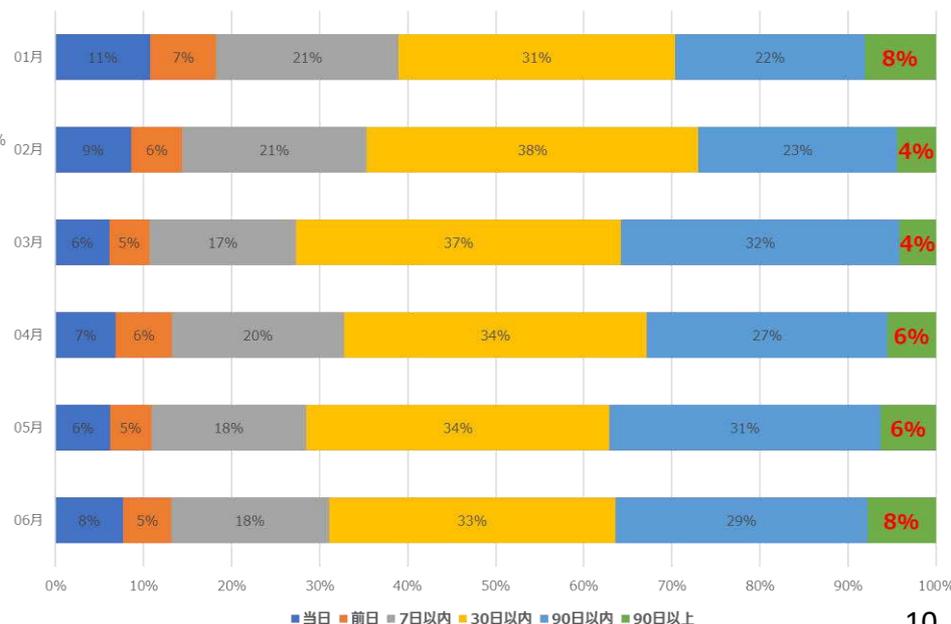
## ■ 予約までのリードタイムが伸びつつある

予約から宿泊までの日数 神戸市 (有馬町 ハイクラス)



・各エリアのハイクラスにあたっては、長期休暇が見込める1月・5月に、リードタイムの長い層が少し増加していたようである。

予約から宿泊までの日数 神戸市 (有馬町除く ハイクラス)



## ■ 兵庫県内からの宿泊者が多い

- ・神戸市全体では、兵庫県内からの宿泊者が多いという結果になった。
- ・一方、有馬エリアにおいては、全月で「大阪府」からの宿泊者数が1位となり、エリアによって特色が出ている。

### 【神戸市全体】

順位	2023年1月		2023年2月		2023年3月		2023年4月		2023年5月		2023年6月	
	居住地	比率										
1位	兵庫県	20.9%	兵庫県	16.8%	兵庫県	13.9%	兵庫県	15.5%	兵庫県	13.5%	東京都	15.1%
2位	大阪府	11.8%	東京都	11.7%	東京都	12.3%	東京都	13.2%	東京都	12.1%	兵庫県	14.5%
3位	東京都	11.3%	大阪府	11.1%	大阪府	10.6%	大阪府	10.1%	大阪府	9.7%	大阪府	9.0%
4位	愛知県	5.6%	愛知県	6.1%	愛知県	6.7%	神奈川県	6.1%	愛知県	6.5%	神奈川県	6.6%
5位	神奈川県	5.5%	神奈川県	5.4%	神奈川県	5.9%	愛知県	5.3%	神奈川県	5.6%	愛知県	5.6%

### 【有馬 (ハイクラス)】

順位	1~3月		4~6月	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	大阪府	24.5%	大阪府	23.0%
2位	兵庫県	13.5%	兵庫県	14.0%
3位	その他+不明	8.5%	その他+不明	8.6%
4位	愛知県	7.2%	東京都	7.1%
5位	東京都	6.4%	愛知県	6.9%

### 【有馬 (ハイクラス以外)】

順位	1~3月		4~6月	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	大阪府	22.4%	大阪府	20.3%
2位	兵庫県	13.4%	兵庫県	12.8%
3位	愛知県	8.7%	愛知県	8.0%
4位	東京都	6.6%	東京都	7.1%
5位	京都府	5.8%	京都府	4.4%

### 【市街地 (ハイクラス)】

順位	1~3月		4~6月	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	兵庫県	17.8%	兵庫県	15.7%
2位	大阪府	12.6%	大阪府	11.5%
3位	東京都	9.8%	東京都	10.9%
4位	愛知県	7.1%	愛知県	6.6%
5位	神奈川県	4.3%	神奈川県	4.4%

### 【市街地 (ハイクラス以外)】

順位	1~3月		4~6月	
	居住地	比率	居住地	比率
1位	兵庫県	17.2%	東京都	14.9%
2位	東京都	13.3%	兵庫県	14.4%
3位	大阪府	8.6%	大阪府	7.5%
4位	神奈川県	6.5%	神奈川県	6.9%
5位	愛知県	5.6%	愛知県	5.4%

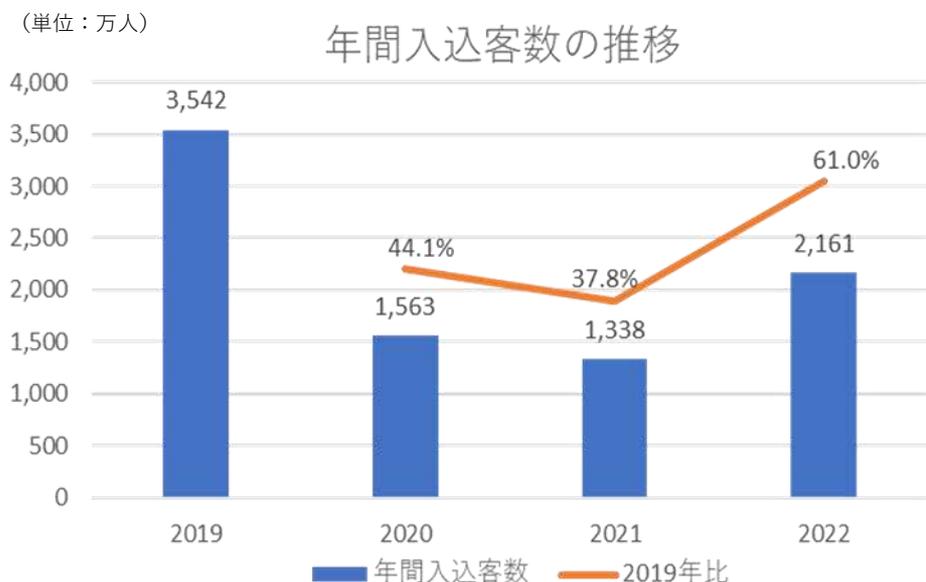
## 2022年（令和4年）観光客はコロナ前の6割に回復

- 神戸市が行った調査によると、2022年（令和4年）神戸市観光入込客数※は、2,161万人。
- 2022年（令和4年）はまん延防止等重点措置（2022.1.27～3.21）による行動制限といった新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、感染状況の落ち着きに伴うイベント等の再開や全国旅行支援の実施により、コロナ前の2019年（令和元年）の6割にまで回復した。
- 国内旅行者のうち来神者は市内を始め、関西圏からの来訪が約8割を占めている。

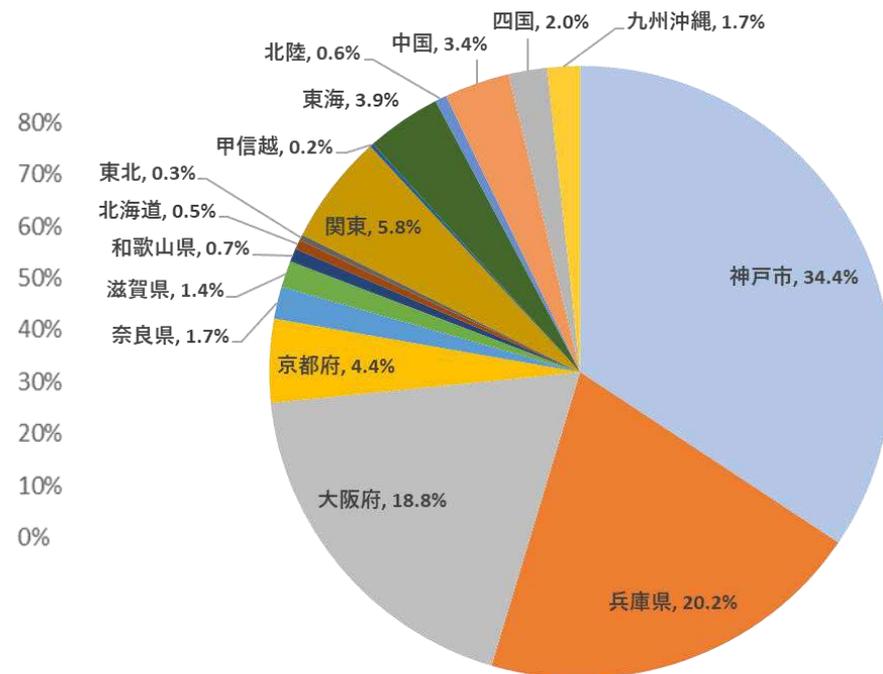
※ 観光入込客数とは

…日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者（観光庁「観光入込客統計に関する共通基準」より）

### 【神戸市の観光入込客数 推移】



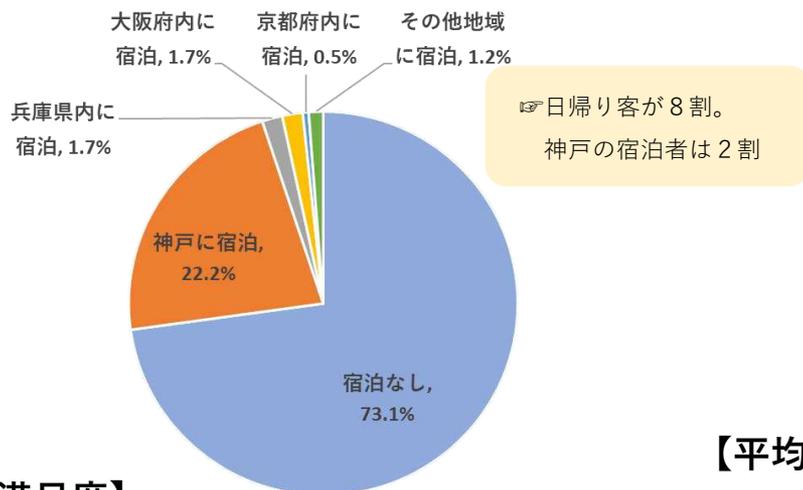
### 【国内旅行者 来神者居住地】



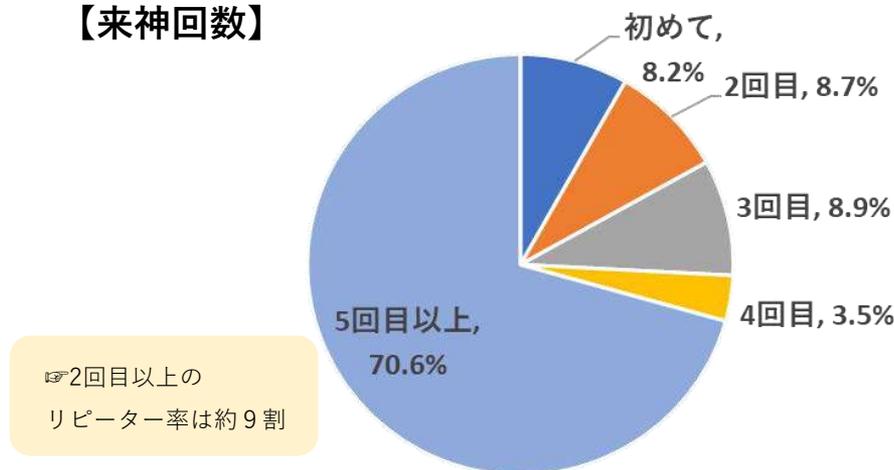
## 国内旅行者分析

- 国内旅行者の動向をみると、約8割が近隣からの日帰り客となっている。
- 故にリピーター率や満足度は高く、近隣の方からすると神戸は「何度も訪れたいくなる魅力的な街」であることが分かる。
- 旅行者の平均消費額は、日帰り客が9,994円、宿泊客が40,923円（宿泊は、日帰りの約4倍）

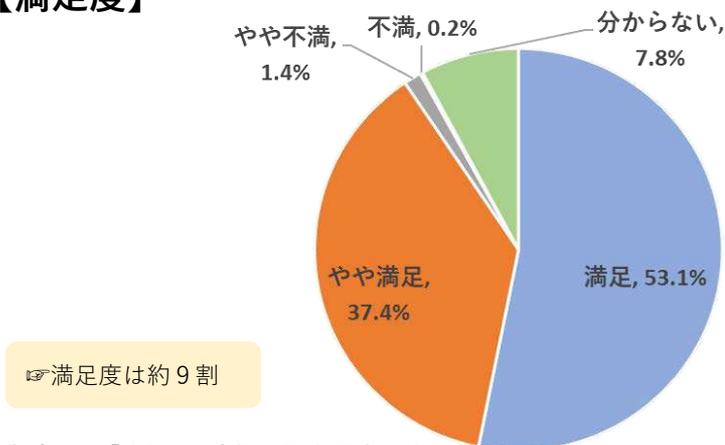
### 【旅程・宿泊地】



### 【来神回数】



### 【満足度】



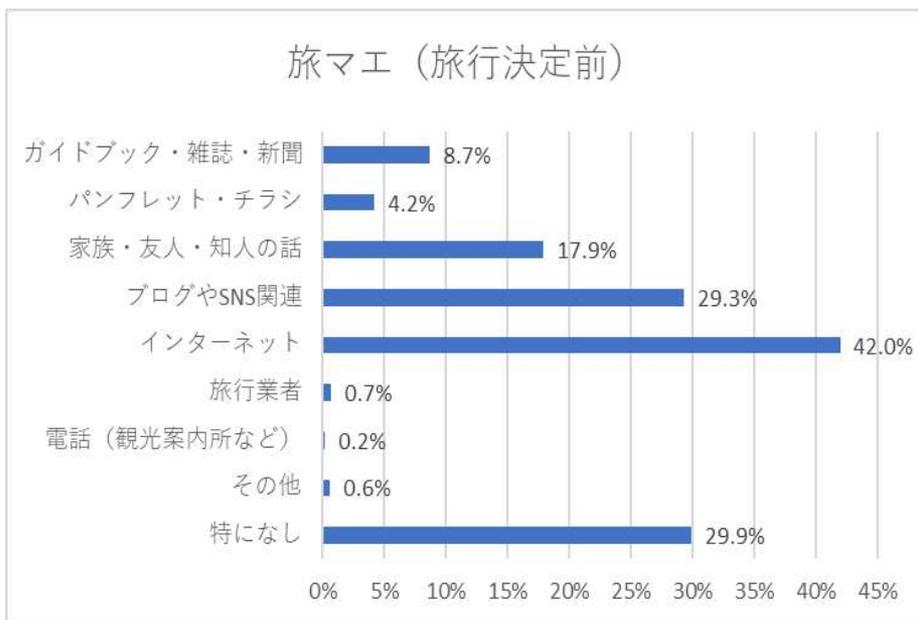
### 【平均消費額】



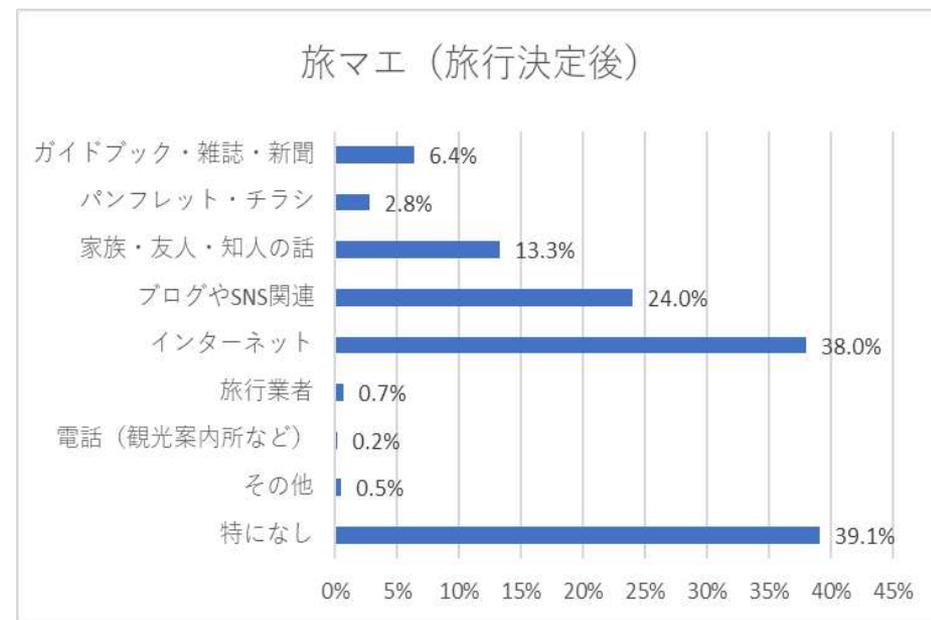
## 国内旅行者分析

- ▶ 旅マエにおける情報収集方法を、「旅行決定前」と「旅行決定後」に分けて調査。どちらも「インターネット」「ブログやSNS関連」でのリサーチ方法が上位となっており、インターネットやSNSでの発信が旅行予定者の目にとまりやすいことが分かる。

### 【旅マエ（旅行決定前）】



### 【旅マエ（旅行決定後）】



- ☞ 全体的に、同じ旅マエの情報収集であっても、全項目において旅行決定前に調べる割合の方が高く、旅行決定後は追加で調べない層の割合が増加している。（旅行決定前3割 ⇒ 旅行決定後4割）  
よって、旅行決定前の段階で「神戸に行きたくなる」ような動機となるものの情報発信が重要であると推察される。



昨年の10月にエンゲージメントの高かった投稿を紹介。

## 観光スポット編

10月は多彩なスポット!

### ↑ いいね数 上位ランキング

2022年10月

BEST 1



2022/10/26

BEST 2



2022/10/14

BEST 3



2022/10/7

BEST 4



2022/10/5

BEST 5



2022/10/21

昨年10月は「神戸の老舗デパート」が**1位**に。神戸らしい雰囲気たっぷりの神戸丸と旧居留地は、特に夜の姿が美しい神戸のランドマーク。  
**2位**⇒「生まれ変わった神戸の阪急」。「クロエのアイスクリーム」、「ブルーボトルコーヒー」といったカフェ・スイーツに人気が集まった。  
**3位**⇒「ジャズの音色に酔いしれる」1969年以来、多くの人々を魅了してきた「ジャズライブ&れるトランソネ」。「神戸ジャズストリート」が今年も**10/7・8**に開催される。  
**4位**⇒「神戸空港がテーマパークに」。田中達也氏による常設ミュージアムオープン of 投稿。不思議な感覚になるフォトスポット。  
**5位**⇒「天空のパワースポット」。豊かな自然に恵まれた天上寺。晴れた日には淡路島、明石海峡大橋、小豆島までが遠望できる。



2022/10/28



ポートアイランド

六甲アイランド



ハーバーランド



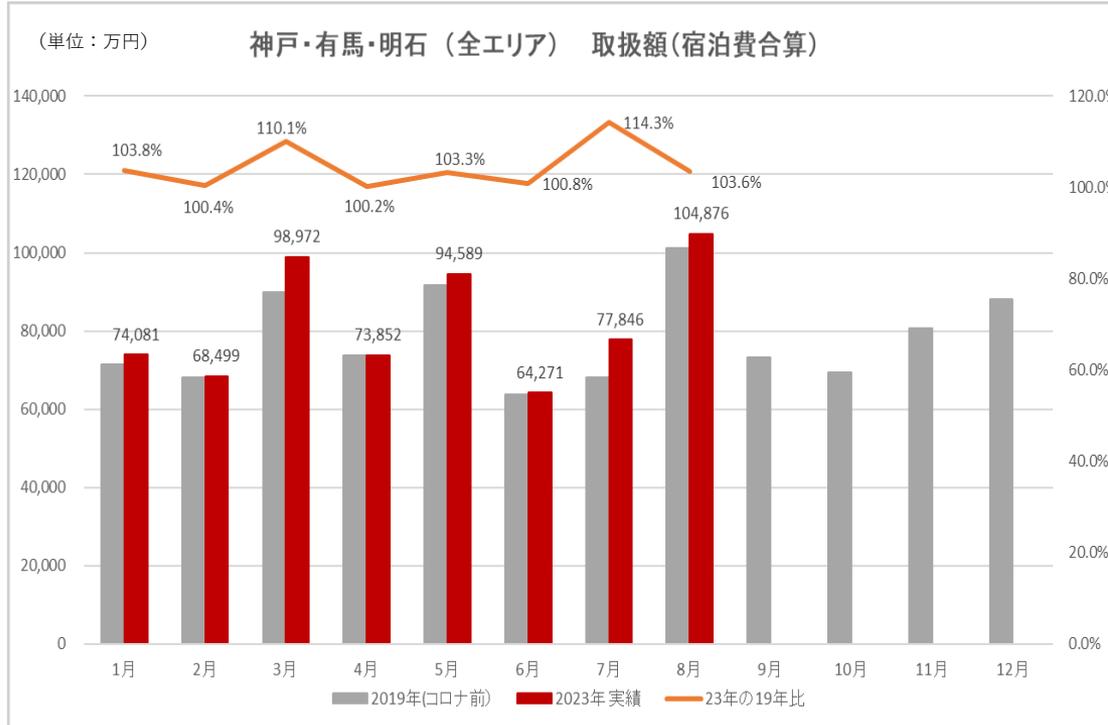
・昨年3年振りの開催となった「神戸マラソン」を前に、「ランニングスポット3選」を投稿。  
 ・2023年は11月19日に開催される。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

## ■ 直近のOTA予約状況について

- 8月 全市（明石含む）の取扱額：2019年同月比：103.6%、人泊数：96.4%、単価：107.5%。
- 夏休みの影響で回復していた人泊数であるが、8月はお盆期間に台風が直撃するなどの影響もあり、コロナ前には惜しくも届かなかった。
- 有馬にあっては、酷暑により温泉が時期的に選ばれにくくなっていること、単価の上昇から国内旅行者よりもインバウンドに選ばれやすくなってきている傾向がみられる。
- 市街地にあっては、人手不足により販売部屋数を抑えつつ、単価を上げることで売上を維持しているホテルが増加傾向。

## 【実績】



### 2019年度比

	6月	7月	8月
<b>全市</b>			
取扱額	100.8% (97.3%)	114.3% (98.9%)	103.6% (88.3%)
人泊数	89.6% (96.8%)	102.0% (96.8%)	96.4% (87.6%)
<b>市街地</b>			
取扱額	100.8% (95.8%)	115.2% (98.1%)	106.7% (88.8%)
人泊数	92.4% (100.4%)	105.6% (99.2%)	99.7% (91.5%)
<b>有馬</b>			
取扱額	96.9% (97.2%)	107.5% (98.3%)	92.5% (88.3%)
人泊数	81.2% (86.4%)	88.9% (88.8%)	81.8% (80.7%)

黒太字は  
2023年-2019年比（ ）内は同時点の2022年-2019年比

### 【このデータの特徴】

現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

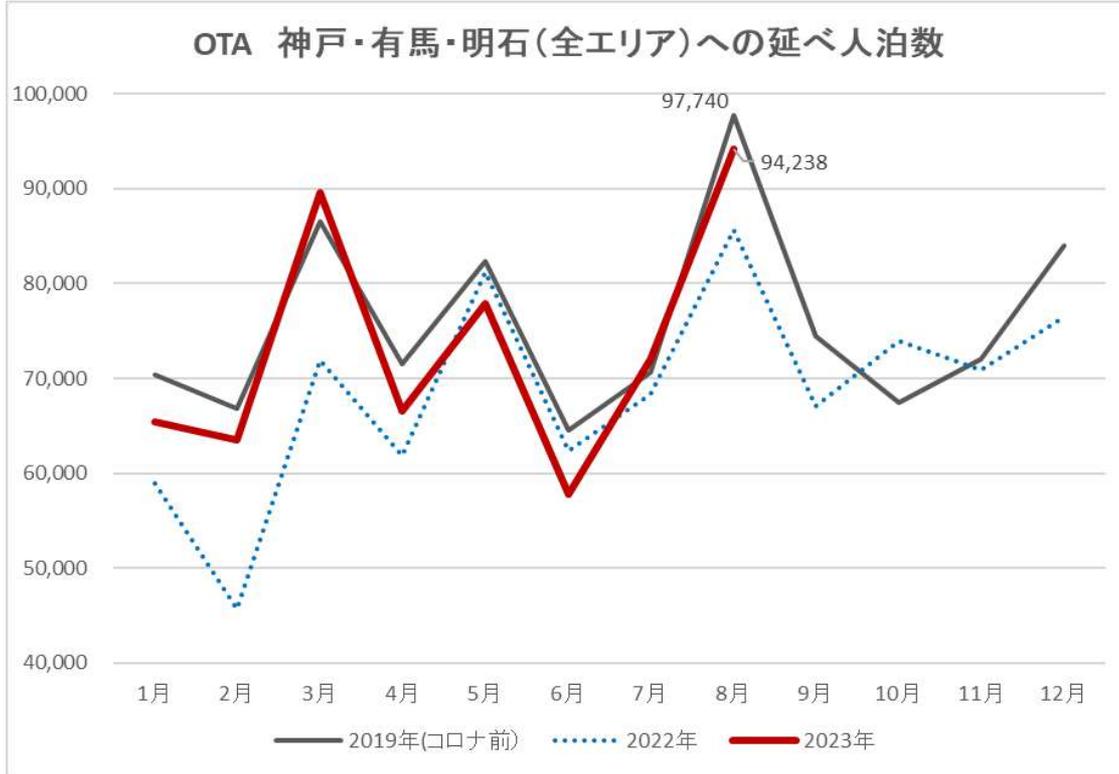


## 【DATAに関する基本情報】

- ・ 某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・ 神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）

## 【グラフA】

（単位：人泊）



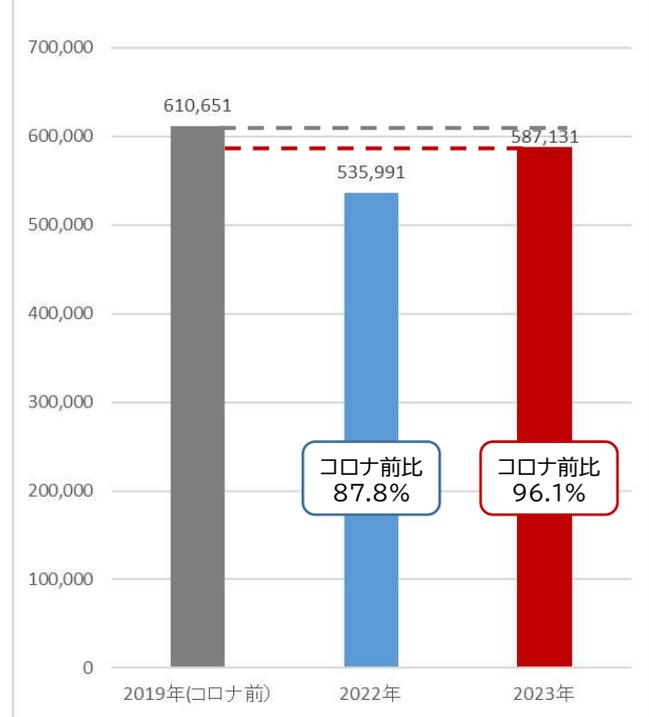
## 【グラフB】

OTA

（単位：人泊）

神戸・有馬・明石(全エリア)

## 1～8月までの延べ人泊数累計比較



### 【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・ 2023年 1-8月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移。3月以外は2019年比▲5%～▲10%で推移。
- ・ インバウンドが回復傾向のため、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない月もあった。
- ・ 7月以降は夏休みの影響もあり、2019年度とほぼ同水準に回復。8月は台風の影響により人泊数は惜しくもコロナ前に届かなかった。2019年8月（9万7740人泊）の96.4%にあたる9万4238人泊となった。

### 【考察② グラフ〔B〕 2023-2019 1～8月延べ人泊数累計の比較】

- ・ 2023年8月までは、58万7131人泊で、2019年（コロナ前・61万651人泊）の96.1%まで回復
- ・ 2022年の8月までの累計（2022年・53万5991人泊）と比較すると、前年比109.5%。
- ・ コロナ禍が明けてきたこともあり、2022年と比較すると順調に回復してきている。

# 今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング



## 【予約】

黒太字は  
2023-2019年比（ ）内は同時点の2023-2022年比

### 【神戸市】

2019年比  
〔取扱額〕

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
<b>全市</b>						
9.18時点	115.4% (118.3%)	130.6% (127.7%)	133.5% (197.8%)	125.4% (157.5%)	148.8% (147.3%)	160.6% (227.1%)
8.20時点	122.0% (142.9%)	130.6% (154.8%)	120.9% (223.6%)	124.8% 158.6%	8.9% 172.4%	—
<b>市街地</b>						
9.18時点	120.1% (123.4%)	132.1% (125.5%)	122.3% (198.0%)	116.8% (162.3%)	152.7% (192.8%)	134.4% (214.5%)
8.20時点	124.7% (147.1%)	122.3% (134.9%)	106.0% (198.8%)	119.5% 169.3%	10.0% 226.6%	—
<b>有馬</b>						
9.18時点	93.2% (103.0%)	120.1% (126.4%)	131.0% (170.0%)	141.8% (158.8%)	149.9% (119.1%)	353.9% (311.1%)
8.20時点	103.4% (119.2%)	125.5% (166.7%)	133.9% (211.9%)	138.6% 169.4%	5.5% 146.4%	—

## 【他エリア比較】

2019年比  
〔取扱額〕

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
<b>淡路島</b>						
9.18時点	123.3% (120.1%)	180.8% (121.0%)	201.4% (153.8%)	186.6% (113.1%)	185.3% (99.9%)	314.6% (134.9%)
8.20時点	146.2% (105.2%)	208.2% (132.4%)	211.9% (158.1%)	182.8% 104.4%	13.8% 97.1%	—
<b>城崎</b>						
9.18時点	92.3% (96.8%)	142.8% (129.5%)	159.7% (153.3%)	148.2% (160.4%)	128.9% (139.7%)	220.1% (200.1%)
8.20時点	104.1% (92.9%)	150.8% (158.2%)	181.3% (217.3%)	197.3% 209.0%	8.6% 157.9%	—
<b>大阪市エリア</b>						
9.18時点	144.7% (137.3%)	178.8% (175.4%)	177.6% (234.8%)	152.0% (226.2%)	121.6% (231.0%)	164.2% (310.0%)
8.20時点	155.9% (199.7%)	182.3% (240.1%)	160.4% (271.5%)	149.2% 292.2%	10.2% 254.7%	—
<b>京都市エリア</b>						
9.18時点	118.9% (103.3%)	137.4% (170.4%)	148.2% (196.3%)	148.8% (213.3%)	128.4% (168.8%)	146.7% (262.7%)
8.20時点	116.4% (150.0%)	130.8% (238.5%)	148.5% (249.2%)	138.6% 249.4%	13.2% 194.5%	—
<b>東京23区エリア</b>						
9.18時点	123.3% (147.9%)	162.4% (239.4%)	167.0% (275.4%)	161.4% (277.3%)	165.7% (303.1%)	186.4% (305.0%)
8.20時点	131.6% (227.2%)	174.1% (353.4%)	161.9% (322.3%)	149.9% 351.4%	10.4% 348.6%	—

- 基本的に先6月に渡って、コロナ前と同等あるいは超えるスピード感で予約が入っている状況。基本的に単価増が好調な伸びを支えている。
- 夏休みも明け、年明けの予約が動き出している。リードタイムの長いインバウンドの予約が動き出していることから、国内旅行者も部屋を取り損ねないように早めに予約する傾向が出つつある。加えて、国内旅行者については、祖父母世代を含めた3世代ファミリー旅行の日程を早めにおさえたりするような動きが出てきていることから、コロナ禍と比較してリードタイムが長くなりつつある傾向に見られ、宿泊事業者にとっては朗報。
- 神戸以外のエリアも含め、引き続き9月以降も好調に推移しているが、要因としては客単価の伸びが全エリアで生じている。  
(単価増の影響としては、①高単価な新規ホテルの増加、②ビジネスなども含めた需要回復によるホテルの稼働率増、③人件費・食材費・委託費等原価の上昇)  
また、引き続き、大阪・京都については単価のみならず、人泊数が2019年水準を上回っていることも手伝って、取扱額が好調。

## 定点観測

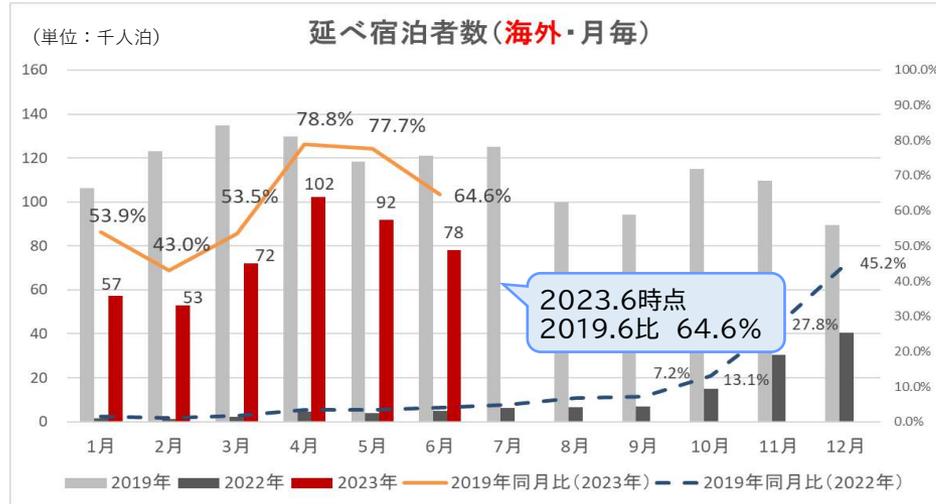
---

(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【インバウンド比較】 ※R5.6まで



## 【兵庫県】



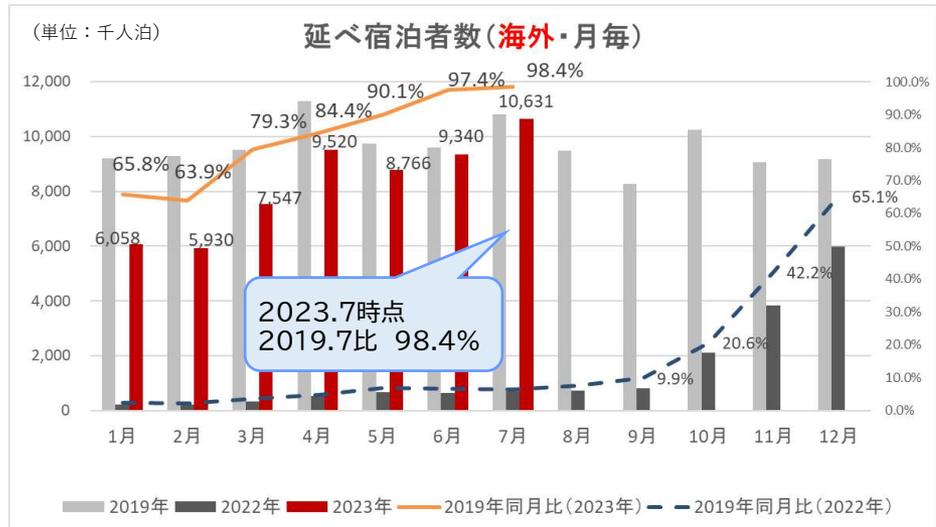
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

## 傾向

兵庫県	コロナ前比 約6割(6月) 全国の回復状況と比較すると、回復鈍化
全国	コロナ前比 約10割(6月~) 全国的にはコロナ前と同水準まで回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

## 【全国】 ※R5.6推計値まで



## 【分析コメント】

- 全国の外国人延べ宿泊者数 国籍別内訳では、台湾が前月から約35%UPの約118万泊となったが、**3位までの3か国(台湾、アメリカ、韓国)がいずれも100万泊超。**前月は1位の韓国のみ約100万泊であったことを考えると、急速な回復を見せている。
- 都道府県別では、トップ5は、**東京、大阪、京都、北海道、福岡。**うち、北海道以外は、**コロナ前と同水準まで回復している。**
- 兵庫県は全国13位。2019年6月比では6割程度の回復率であったものの、延べ宿泊者数の順位としては、16位(5月)から上昇。
- 神戸と同様に政令市の横浜市、名古屋市がある神奈川県、愛知県は、それぞれ約8割、約5割の回復率と、地域ごとにばらつきが生じている

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

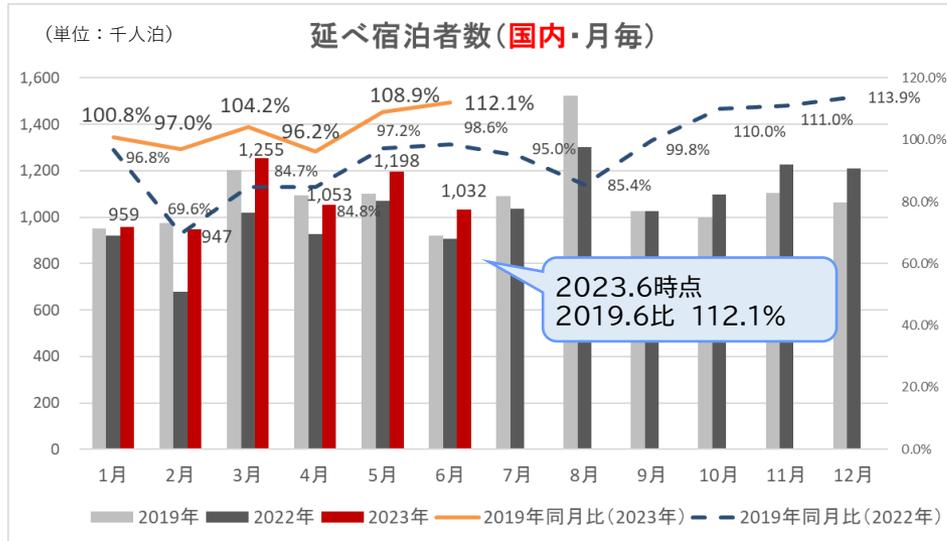
- ・令和5年6月 第2次速報値
- ・令和5年7月 第1次速報値

👉【全国】外国人延べ宿泊者数  
国籍別は[42ページ](#)、都道府県別は[43ページ](#)へ

# 延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.6まで



## 【兵庫県】



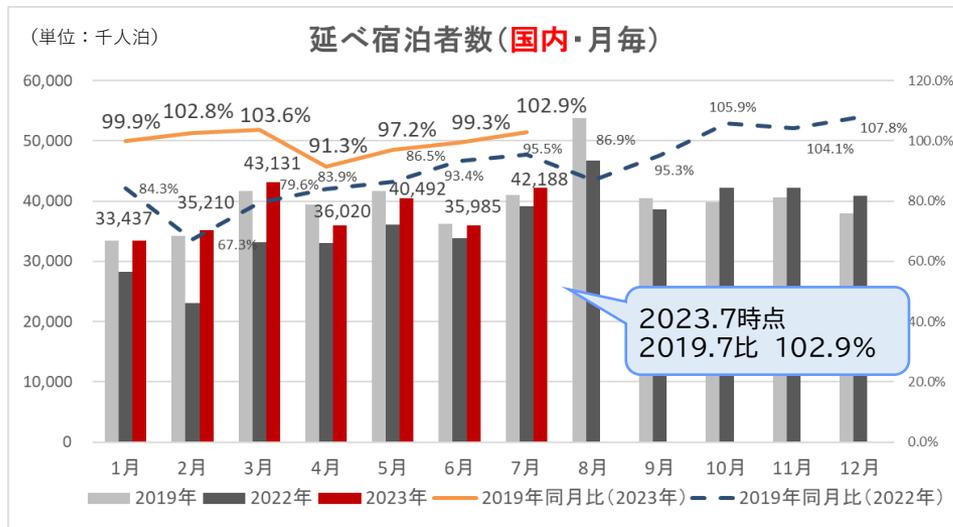
※神戸市の延べ宿泊者数については、取得元（観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」）の数値が安定していないため、掲載保留中

## 傾向

兵庫県  
・全国

コロナ前比と同水準に回復

## 【全国】 ※R5.6推計値まで



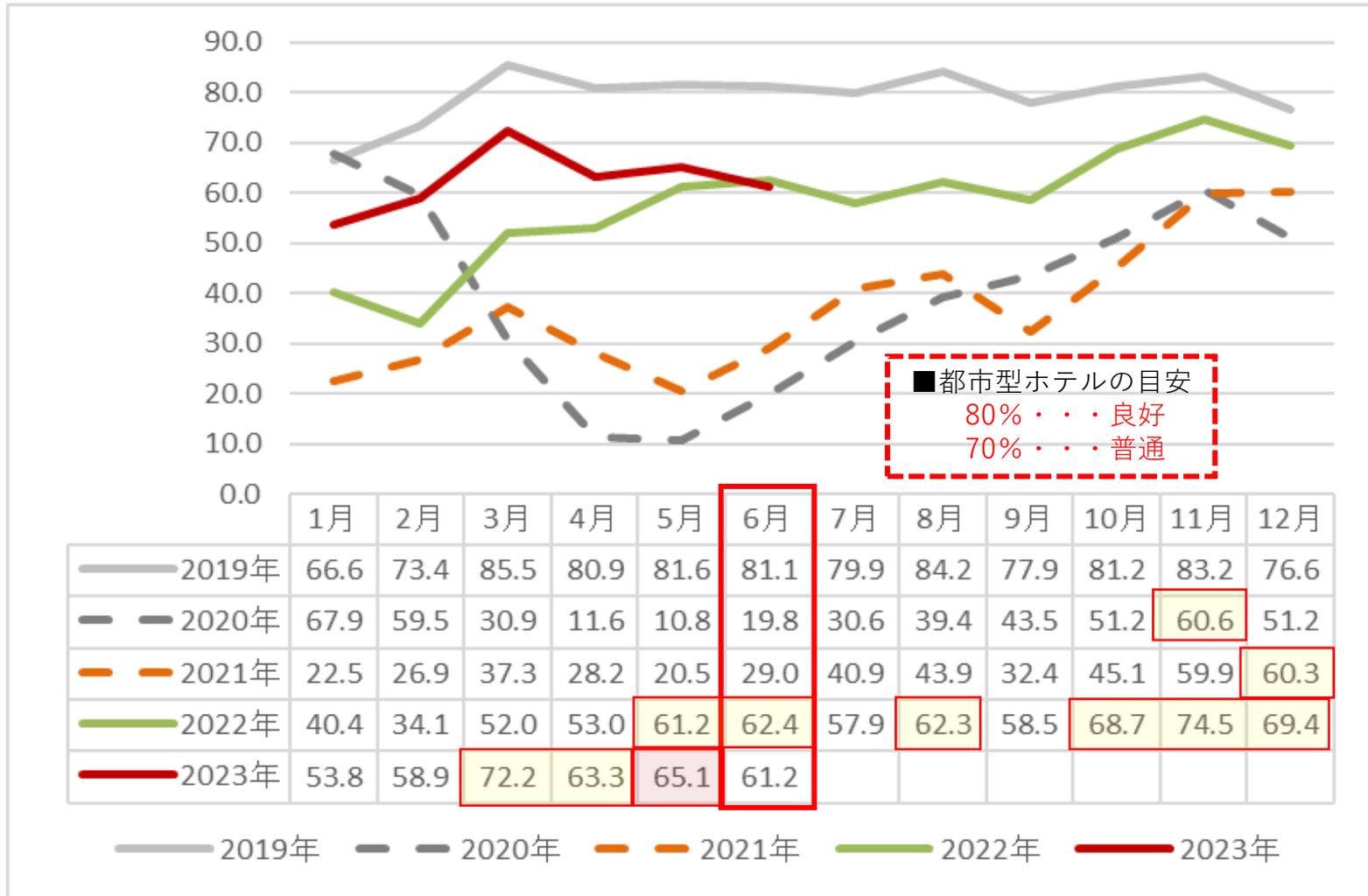
※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典：【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年6月 第2次速報値
- ・令和5年7月 第1次速報値



# 市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表  
7月 国内ホテル稼働率

全国：73.4%  
(前月比 0.2pt)

7月のホテルの全国平均稼働率は、前月比0.2ポイント高い73.4%だった。需要自体は新型コロナウイルス禍前の2019年の水準に戻っているが、供給部屋数が増え、稼働率はほぼ横ばいが続く。

# インバウンド情報

---

## (訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

# 2023年月別訪日外客数(対2019年比)

訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
6月	2,880,041名	2,073,441名	▲28.0%
7月	2,991,189名	2,320,600名	▲22.4%
8月	2,520,134名	2,156,900名	▲14.4%

- ・訪日外客数は6月以降、1月200万人を超える勢いで推移。8月も引き続き210万人を超えるなど、着実な回復を見せ、**回復率は新型コロナウイルス拡大後初めて8割を超えた。**
- ・なお、2023年の累計(1~8月)はで1500万人を突破している。
- ・韓国がコロナ前と比較して**2倍近くの伸び**を見せるなど、外客数を牽引。その他、**東南アジアや北米豪においては、2019年を上回るほどの外客者数を記録**している。
- ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10~ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7~ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11~ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29~ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)

訪日外客数 Visitor Arrivals			
	2019	2023	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	1,497,472 (1,308,606)	-44.3 (-44.2)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	1,475,455 (1,297,458)	-43.3 (-44.6)
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	1,817,616 (1,582,518)	-34.1 (-34.4)
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	1,949,236 (1,738,172)	-33.4 (-34.2)
5 May	2,773,091 (2,455,865)	1,899,176 (1,656,118)	-31.5 (-32.6)
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)	2,073,441 (1,882,296)	-28.0 (-28.0)
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)	*2,320,600	*-22.4
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)	*2,156,900	*-14.4
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1~8 Jan.-Aug.	22,144,937 (19,729,200)	*15,189,900	*-31.4
1~12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		

訪日外客数のうち、\*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

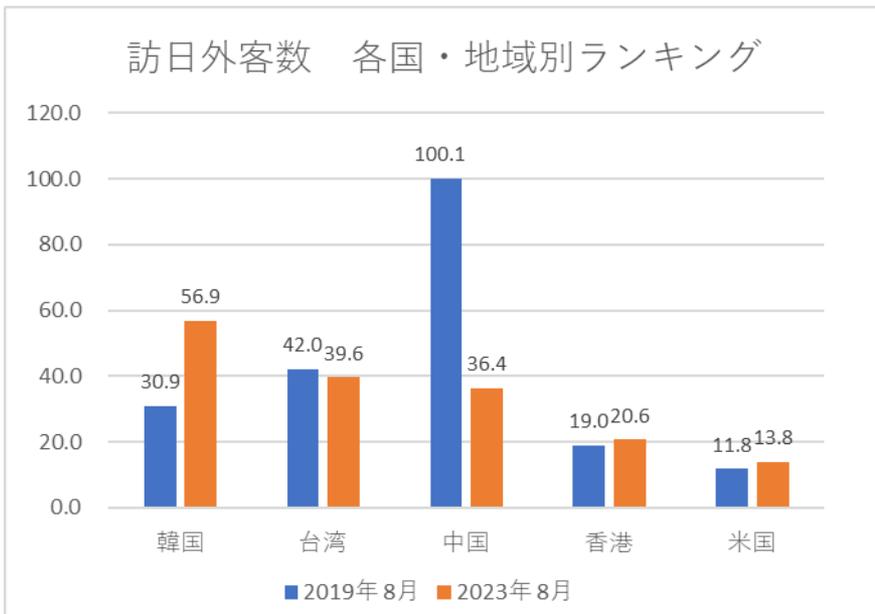
# 2023年8月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)



国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 8月	2023年 8月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～8月	2023年 1月～8月	(順位)	伸率 (%)
韓国	308,730人	569,100人	(1位)	84.3	4,733,063人	4,324,400人	(1位)	▲ 8.6
台湾	420,279人	396,300人	(2位)	▲ 5.7	3,360,344人	2,589,200人	(2位)	▲ 22.9
中国	1,000,639人	364,100人	(3位)	▲ 63.6	6,583,524人	1,272,200人	(5位)	▲ 80.7
香港	190,260人	206,300人	(4位)	8.4	1,504,959人	1,332,500人	(3位)	▲ 11.5
米国	117,828人	138,400人	(5位)	17.5	1,149,817人	1,309,400人	(4位)	13.9



韓国がコロナ前と比較して184%となっており、伸びが顕著。



## 8月動向

- 8月の訪日外客数は、2019年同月比 85.6%の2,156,900人となった。回復率では前月を上回り、新型コロナウイルス拡大後初めて8割を超えた。
- 23市場中13市場において、2019年同月の訪日外客数を上回っており、特に東アジア地域では香港、東南アジア地域ではインドネシアやフィリピン、欧米豪中東地域では米国やカナダ等で訪日外客数が増加したことが回復率の押し上げ要因となった。なお、国際線定期便に関しては、2023年夏ダイヤ時点でコロナ禍前の約6割まで運航便数が回復し、その後も東アジアを中心に増便・復便が続いている。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）等を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進していく必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャートラベルの推進、MICE 誘致等の取組を強化していくことが求められる。

# 主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～マレーシア～



by KTBインバウンドTM



- ・人口・・・3,237万人(2020年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：1万1千米ドル → 2021：1万1千米ドル  
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：108億米ドル → 2018：121億米ドル → 2019：124億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：44万人 → 2018：47万人 → 2019：50万人
- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性=47:53 / 男女ともに約6割が10～30代  
2021 男性：女性=62:38 / 男性の3割が20代
- ・情報収集媒体・・・JNTOホームページ、動画サイト (YouTube)、  
宿泊施設ホームページ、SNS (Facebook/Twitter/微信等)
- ・SNSシェア・・・YouTube (93.7%)、Whatsapp (91.9%)、Facebook (89.1%)、Instagram (74.7%)



## ＜訪日マレーシア人向けの効果的なWebプロモーション＞

YouTube、Facebook、InstagramなどSNSを用いた発信が有効。特徴として、マレーシアは多民族であり、公用語はマレー語であるが、華人(約25%)の間では中国語が主に用いられるほか、英語も広く通用する。WEB上で情報発信する際には、ターゲットを明確にした上で、言語をあわせた発信が重要(例：ムスリム向け=マレー語、富裕層向け=中国語、広範に発信=英語など)。

## マレーシアの最新情報ひとことメモ

### ・マレーシア人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)

コロナを経験し、旅行の考え方が大きく変わる。

- ①マレーシア人の多くは国内旅行を楽しむようになった。特に、ペナン、ランカウイ、マラッカ、クチンなどが人気。
- ②エコツーリズムとアウトドアアクティビティ: 自然に親しむエコツーリズムやアウトドアアクティビティへの関心が高まる。  
ジャングルトレッキング、ダイビング、キャンプなど、アドベンチャーを求める旅行者が増加。  
国内旅行に関心が高まり、国内観光産業は活性している。

※日本は人気のデスティネーションだが、航空券代や日本国内ホテルの高騰により、ヨーロッパ旅行と旅行代金の差がなくなり、それなら現時点ではヨーロッパ旅行へ行こうという流れが主流に。

### ・神戸観光局の動き

9月に開催されたマレーシア最大級のB to C向けの訪日旅行博「MATTA Fair」に出展し、神戸ビーフをはじめとした、神戸の食の魅力を中心に、ムスリムフレンドリー・タウン「神戸」のPRを行うとともに、現地大手旅行会社に、神戸ツアーの即売会をしてもらい、約50名の申込み。旅行博後はムスリムに特化した旅行会社へ商品造成の依頼営業や大手テレビ局に対して、神戸を売り出す手法の協議を行った。



↑多くの来場者でにぎわうMATTA FairのJNTOブース

交通機関に関する情報  
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

---

関西国際	2023年 5月	6月	7月
総旅客数(人)	1,808,219	1,892,675	2,123,912
2019年比	▲34%	▲30%	▲24%
国際線 発着数(回)	8,660	8,786	9,663
2019年比	▲36%	▲34%	▲30%
国際線 旅客数(人)	1,233,632	1,353,256	1,525,938
2019年比	▲43%	▲37%	▲30%
うち外国人 旅客数(人)	989,324	1,095,837	1,202,909
2019年比	▲33%	▲28%	▲22%
国内線 旅客数(人)	574,587	539,419	597,974
2019年比	▲4%	▲2%	▲2%

神戸	2023年 5月	6月	7月
国内線 発着数(回)	2,845	2,744	3,059
2019年比	+8%	+14%	+19%
国内線 旅客数(人)	290,845	275,898	290,661
2019年比	+5%	+5%	+3%

< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・ 関西国際空港における航空旅客数が新型コロナウイルス感染症の流行後（2020年2月以降）初めて月間200万人（2019年比76%）まで回復。
- ・ 外国人旅客数は、7月も順調に増加し、前月比109.7%。
- ・ 国際線旅客数は、引き続き外国人旅客数・日本人旅客数共に好調に推移して、2019年比70%まで回復が進んでいる。
- ・ 神戸空港については、2019年比103%、前月比109.4%。前月比増加率トップ3は、①花巻 ②鹿児島 ③松本で、全体的に新潟便運休分をカバーしている状況。

📖 [直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は46ページ](#)、  
[2023年7月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は47ページへ](#)

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。



# 関空国際線就航状況・入国状況 ～KTBターゲット12か国～ 9月13日時点

国際線就航状況 (便数)	2020年1月	2023年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	3	5	5	5	4	4	4
豪州	12	4	5	5	5	5	7	7
米国	<b>78</b>	—	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>14</b>
中国	<b>630</b>	<b>8</b>	<b>98</b>	<b>125</b>	<b>161</b>	<b>157</b>	<b>197</b>	<b>213</b>
台湾	<b>169</b>	<b>91</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>101</b>	<b>94</b>	<b>112</b>	<b>119</b>
香港・マカオ	117	<b>69</b>	<b>69</b>	<b>118</b>	<b>82</b>	<b>96</b>	<b>94</b>	<b>96</b>
韓国	<b>244</b>	<b>239</b>	<b>265</b>	<b>282</b>	<b>246</b>	<b>296</b>	<b>263</b>	<b>310</b>
タイ	47	21	31	36	36	42	42	43
マレーシア	14	15	15	15	18	18	18	21
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	116	—	14	14	21	21	21	21

※1週間に就航している便数

ターゲット12か国合計、前月比110%

韓国は300便/週を超えて2020年比でも127%になった。

出典：関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年1月	2023年3月	4月	5月	6月
英国	3,526	3,931	3,811	3,316	2,671
フランス	2,271	3,644	5,769	5,441	3,374
豪州	11,956	6,385	8,226	6,090	5,653
米国	12,756	17,020	20,690	23,048	29,567
中国	<b>328,191</b>	<b>18,157</b>	<b>35,857</b>	<b>58,039</b>	<b>92,662</b>
台湾	<b>102,205</b>	<b>69,566</b>	<b>73,493</b>	<b>79,576</b>	<b>101,540</b>
香港	51,421	<b>48,240</b>	<b>44,399</b>	<b>46,007</b>	<b>51,857</b>
韓国	<b>85,174</b>	<b>149,823</b>	<b>158,791</b>	<b>172,775</b>	<b>173,348</b>
タイ	22,458	20,748	29,837	23,342	14,466
マレーシア	11,684	11,950	11,866	10,642	7,220
インドネシア	8,866	6,179	11,275	6,611	8,762
シンガポール	6,237	14,578	9,698	14,145	15,370

ターゲット12か国合計、前月比113%

増加率トップは中国で、前月比160%。次いで、インドネシア133%、台湾・米国が128%。台湾は10万人を超えて、1位韓国（17.3万人）に次いで2位となる。

フランス・マレーシア・タイは前月比60%台となっている。

8月は前月を下回り98.4%

※2023.8月速報値  
 関空入国者数：591,846人（7月：601,246人 6月：552,492人）

出典：総務省「出入国管理統計」より抜粋

# 【クルーズ船寄港状況】 ポートターミナル・中突堤



		8月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	11	7	11	157%	100%	61	119	150	51%	41%
	船客数	6,924	374	9,852	1851%	70%	52,251	26,683	180,727	196%	29%

ポートターミナル		8月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	8	7	6	114%	133%	42	111	94	38%	45%
	船客数	5,369	374	7,238	1436%	74%	41,644	22,875	142,298	182%	29%
日中国際フェリー (新釜真・蘇州號)	隻数	5	4	2	125%	250%	22	52	28	42%	79%
	船客数	0	0	411	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	2	0	0%	-	3	53	11	6%	27%
	船客数	0	358	0	0%	-	2,698	18,387	7,385	15%	37%
日本船 (外航)	隻数	0	1	0	0%	-	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	16	0	0%	-	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	3	0	4	-	75%	17	4	52	425%	33%
	船客数	5,369	0	6,827	-	79%	38,946	4,468	131,125	872%	30%

中突堤旅客ターミナル		8月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	3	0	5	-	60%	19	8	56	238%	34%
	船客数	1,555	0	2,614	-	59%	10,607	3,808	38,429	279%	28%
日本船 (内航)	隻数	3	0	2	-	150%	10	3	42	333%	24%
	船客数	1,555	0	967	-	161%	5,675	773	29,813	734%	19%
日本船 (外航)	隻数	0	0	2	-	0%	1	0	5	-	20%
	船客数	0	0	997	-	0%	640	0	2,286	-	28%
外国籍船	隻数	0	0	1	-	0%	8	5	9	160%	89%
	船客数	0	0	650	-	0%	4,292	3,035	6,330	141%	68%

## ■全体

8月はR4年度比で隻数+4、船客は+6,550。R1年度比で隻数±0、客数は▲2,928。

神戸寄港最大級の「SPECTRUM OF THE SEAS」(169,379総トン)や神戸初入港の「NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION」(12,786総トン)など多彩なクルーズ客船が寄港した。

## ■ポートターミナル

8月の入港実績は8。内訳は定期船の日中国際フェリーが5、外国客船の「SPECTRUM OF THE SEAS」が1、「PACIFIC WORLD」が1、「NATIONAL GEOGRAPHIC RESOLUTION」が1

## ■中突堤

8月の入港実績は3。内訳は日本客船の「飛鳥II」が3。

# 【クルーズ船】10月の入港予定情報



## 10月は延べ16隻が入港予定！

- ・神戸寄港最大級の「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」が10/3に寄港！
- ・神戸への**初入港**は「レガッタ」が10/31に寄港！

客船名	寄港日時	総トン数	乗客定員 ※クルーは含めず	主な乗客 ※予測	ランク	入港場所
飛鳥II	10/1(日)9:00~17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	10/2(月)9:00~12:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
セレブリティ・ミレニアム	10/2(月)12:00~ 10/3(火)6:00	91,011トン	2,218名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
シルバー・ウィスパー	10/2(月)19:00~ 10/3(火)18:00	28,258トン	388名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤旅客ターミナル
スペクトラム・オブ・ザ・シーズ	10/3(火)11:00~21:00	169,379トン	4,246名	欧米系	カジュアル	ポートターミナル
にっぽん丸	10/6(金)18:00~ 10/7(土)11:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
にっぽん丸	10/10(火)17:00~23:00	22,472トン	400名	日本人	プレミアム	中突堤旅客ターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	10/11(水)12:00~ 10/12(木)19:00	55,254トン	732名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
シルバー・ウィスパー	10/13(金)8:00~ 10/14(土)18:00	28,258トン	388名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤旅客ターミナル
セレブリティ・ミレニアム	10/14(土)12:00~ 10/15(日)6:00	91,011トン	2,218名	欧米系	プレミアム	ポートターミナル
チャイナ・マーチャント・アデン	10/16(月)9:00~ 10/17(火)18:00	47,842トン	930名	中国人	ラグジュアリー	ポートターミナル
セブンシーズ・エクスプローラー	10/22(日)12:00~ 10/23(月)19:00	55,254トン	732名	欧米系	ラグジュアリー	ポートターミナル
チャイナ・マーチャント・アデン	10/27(金)6:30~17:00	47,842トン	930名	中国人	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	10/28(土)9:00~17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
飛鳥II	10/30(月)9:00~ 10/31(火)17:00	50,444トン	872名	日本人	ラグジュアリー	ポートターミナル
<b>レガッタ★初入港</b>	10/31(火)12:00~ 11/1(水)18:00	30,277トン	684名	欧米系	ラグジュアリー	中突堤旅客ターミナル



▲スペクトラム・オブ・ザ・シーズ



▲レガッタ



▲セレブリティ・ミレニアム



Port of KOBÉ

※寄港時間の詳細（入港時間・出港時間）は、天候等により変更になる場合があります。最新情報は神戸市港湾局ホームページにてご確認ください。

神戸市：客船入港予定 ([kobe.lg.jp](http://kobe.lg.jp))

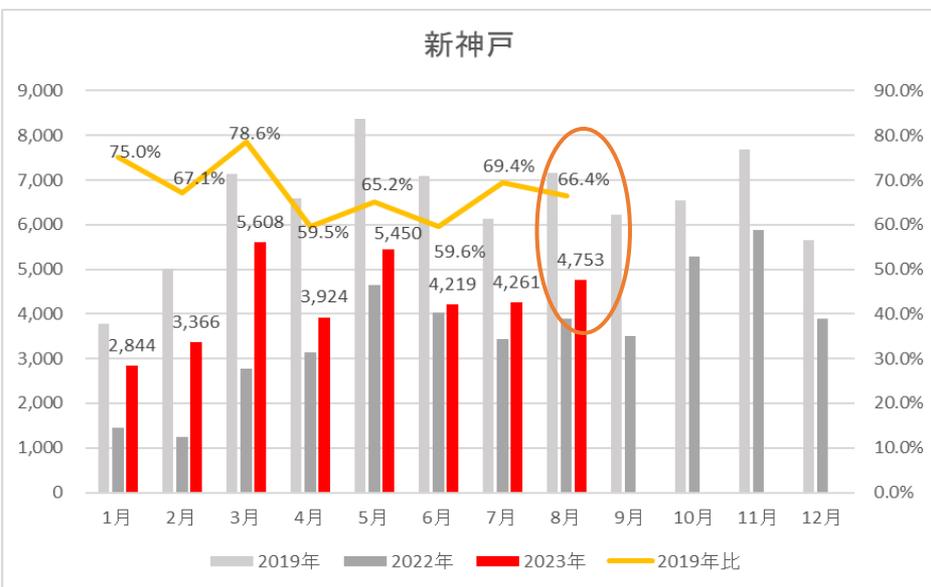
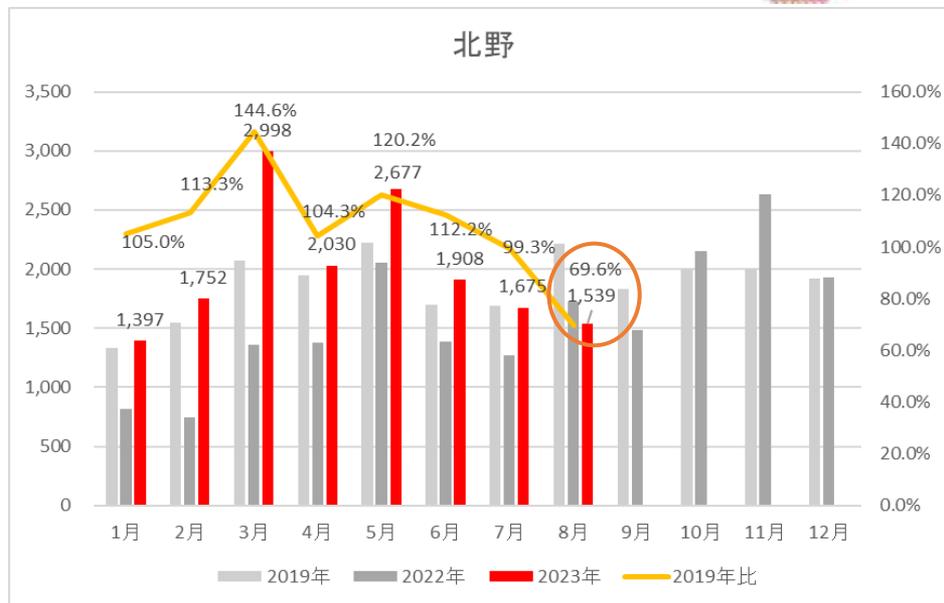
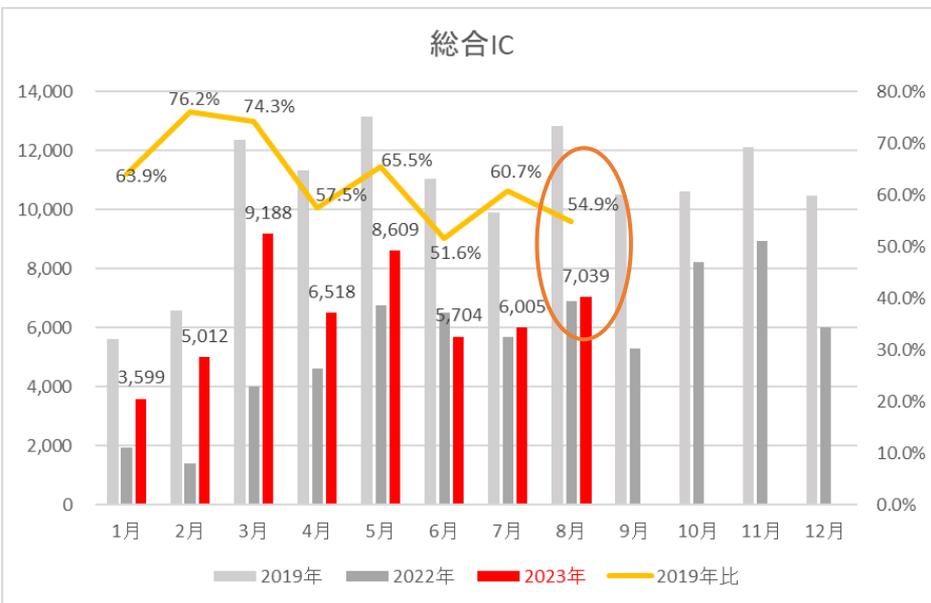
※本資料では参考として客船の「定員数」を掲載しています。実際の「乗船客数」とは異なりますのでご注意ください。

※客船のランクについてはクルーズの価格帯で分類され、一般的に ラグジュアリー>プレミアム>カジュアル の順となります。

神戸市内観光に関する情報  
～神戸観光局オリジナルデータ～

---

# 市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.8)



## ○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

夏休み期間で国内家族連れ多いが年配層も目立つ。

## ○北野観光案内所 (北野異人館街)

8月下旬より海外団体ツアー客が増える。

## ○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

台風に伴う新幹線の遅延対応に追われる。

8月案内所全体件数 13,331件 ⇒ 前月比 111% 2019年比 60.0%

## ○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔件数状況〕 ・ 8月中下旬～9月中旬は平日370件ほど・休日500件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 夏休み中の国内ファミリー。アジア系（中国人割合増）・欧米系旅行者。
  - ・ 男女年配層の夫婦やグループ。
- 〔行き先〕
  - ・ 国内、アトア・アンパンマンミュージアム（家族連れ）・三田アウトレット。
  - ・ アジア系、夜景目的で摩耶山・六甲山。有馬・布引・どうぶつ王国・異人館。
  - ・ 欧米系、淡路島（特にニジゲンノモリ・夢舞台）・有馬・北野。
- 〔内容〕
  - ・ 台湾などアジア系外国人が「ループバスチケット」で市内周遊するケースが目立つ。
  - ・ アトアへのアクセス（バス乗場）問い合わせが8月下旬頃より増加傾向。

## ○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時（3月～10月）

9-17時（11月～2月）

- 〔客数状況〕 ・ 8月中下旬～9月中旬は平日80件ほど・土日150件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 国内家族連れ。中国人ツアー客、台湾ファミリー、韓国、香港など。
  - ・ 20～30代男女のカップルやグループ。
- 〔行き先〕
  - ・ 国内、各異人館・ハーブ園・淡路島・ペット可の異人館。
  - ・ アジア系、各異人館・ハーバーランド・南京町、ハーブ園。
  - ・ 欧米系、布引の滝、ハーブ園、生田神社、港エリア。
- 〔内容〕
  - ・ アジア系以外にも欧米系のツアー客が増加傾向。
  - ・ 国内のリピーターが多い印象。

## ○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・ 8月中下旬～9月中旬は平日170件ほど、土日240件ほど。
- 〔客層〕
  - ・ 国内家族連れ、年配層。
  - ・ ヨーロッパ系の外国人のツアー客・個人客共に目立つ。
- 〔行き先〕
  - ・ 六甲山、竹中大工道具館、市内観光、有馬など。
  - ・ 市内観光以外では、淡路島・鳴門うずしお・アウトレットなど。
- 〔内容〕
  - ・ 外国人からの「布引の滝+ハーブ園」の問合せが定番化してきている。
  - ・ ループバス、スマパスの目的購入が増加傾向

# 市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.8)



国・地域	総合IC	北野	新神戸	
アジア	韓国	311	135	40
	中国	524	175	69
	台湾	621	267	76
	香港	302	82	32
	タイ	49	4	21
	シンガポール	41	6	27
	マレーシア	23	7	5
	インドネシア	9	2	7
	フィリピン	60	4	11
	ベトナム	18	1	1
	インド	10		5
	パキスタン		3	
	バングラデシュ			
その他アジア	967	7	103	
中東	イスラエル	3	2	11
	トルコ	2		1
	イラン			
	その他中東	6		
ヨーロッパ	英国	22	3	14
	フランス	52	21	117
	イタリア	22	8	61
	ロシア			
	ギリシャ			
	アイルランド			
その他ヨーロッパ	372	21	181	
アフリカ	南アフリカ共和国		1	2
	エジプト			4
	その他アフリカ	3		3
北アメリカ	米国	67	18	49
	カナダ	8	7	21
	メキシコ	2	4	6
	その他北米	2		
南アメリカ	ブラジル			10
	アルゼンチン			
	コロンビア			
	その他中南米	9	4	2
オセアニア	オーストラリア	14	6	19
	ニュージーランド			2
	その他オセアニア	4		
地域不明			345	
	(人)	3523	788	1245

## 〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,523人、前月比96%。  
コロナ禍以前2019年同月比70%
- ・外国船入港に伴い、比較的若い層のアジア系や一人旅の欧米系等、高齢の夫婦やグループが目立っていた以前とは異なる客層。
- ・8月に入ってから欧米系の個人旅行者が目立つ。
- ・アジア系（中国・台湾・香港）のファミリー層が多く訪れ、ほとんどが「どうぶつ王国と交通機関セット券」の販売場所問合せ。

## 〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者788人、前月比84%。  
コロナ禍以前2019年同月比45.7%
- ・アジア系が約80%、うち台湾が40%、中国20%。  
全体で前月より147名減少、うち台湾が110名（75%）を占める。
- ・減少要因については台風、気候、あるいはコロナの影響がまだ残っているのかと推察される。
- ・母国語の北野ガイドマップを要望、トイレ・喫煙場所の問合せなど。

## 〔新神戸観光案内所より概況〕

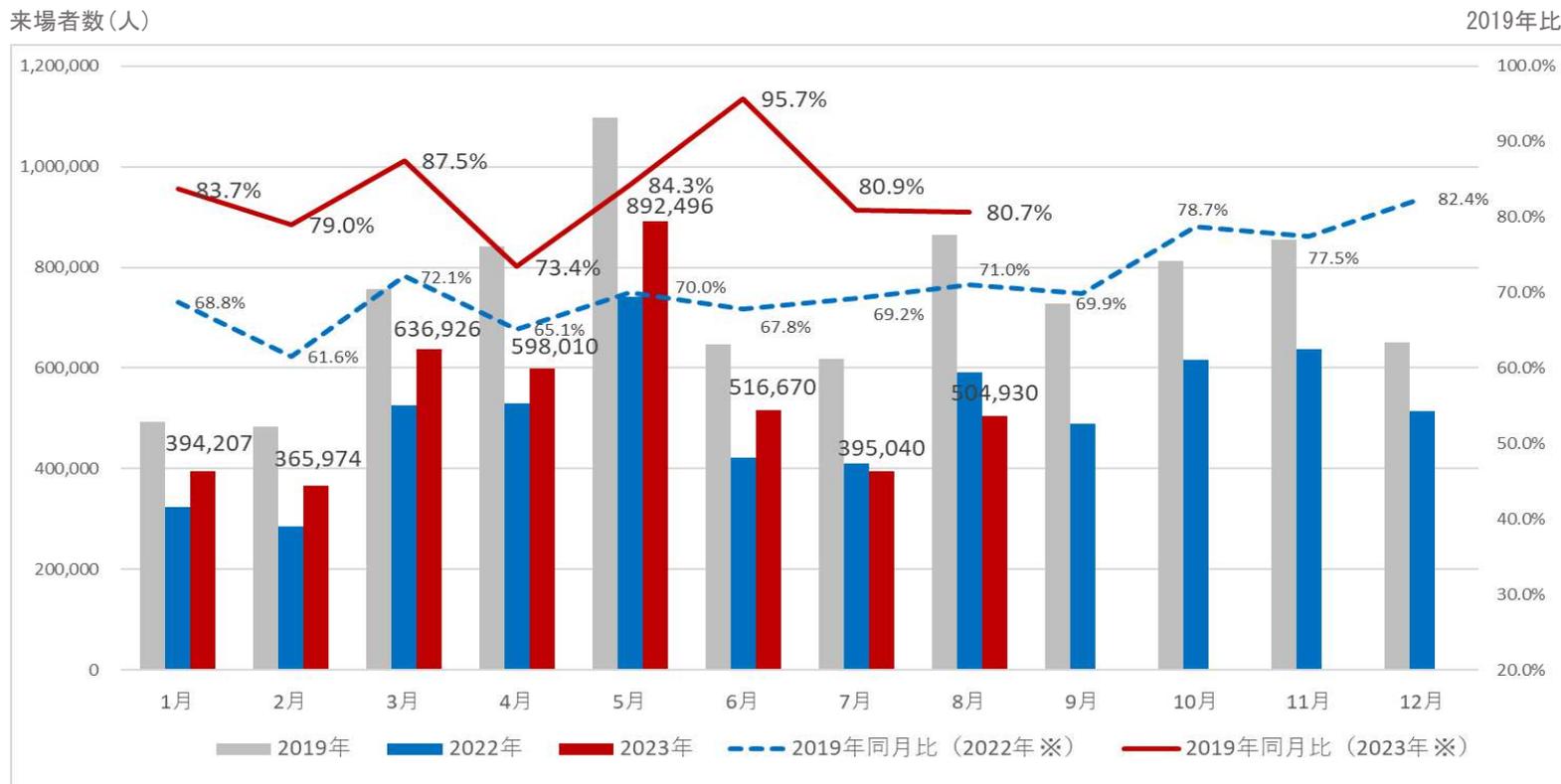
- ・外国籍利用者1,245人、前月比77.4%。  
コロナ禍以前2019年同月比79%。
- ・宮崎、別府、小豆島などのフェリーについての問合せがあり、地方へ出かける外国人観光客が増加している傾向。
- ・猛暑の中でも、布引の滝からハーブ園へのハイキングは人気あり。姫路城、三田アウトレット、ニジゲンノモリも根強い人気。日帰りで鳴門の渦潮や大塚国際美術館へのアクセス相談もある。

**8月案内所全体件数 5,556件 ⇒ 前月比92%  
2019年比74.3%**

# 主要市内観光施設来場者数（2023.8）



- ・ 8月の来場者数について、酷暑の影響に加えて、お盆期間中の8月15日の台風による臨時休業などもあり、7月と同程度の約8割で推移。
- ・ 引き続きインバウンドは増加傾向にあり、特に韓国、台湾からの来場者数の増加を多数の施設が実感。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計
2019年（ポートタワー・スマスイ含む）	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比（2022年）※	68.8%	61.6%	72.1%	65.1%	70.0%	67.8%	69.2%	71.0%	69.9%	78.7%	77.5%	82.4%	71.5%
2023年	394,207	365,974	636,926	598,010	892,496	516,670	395,040	504,930					
2019年同月比（2023年）※	83.7%	79.0%	87.5%	73.4%	84.3%	95.7%	80.9%	80.7%					

※2019年比は、比較時点で改修中の施設除いて比較（2022年・2023年通年：ポートタワー、2023年6月～：須磨海浜水族園）

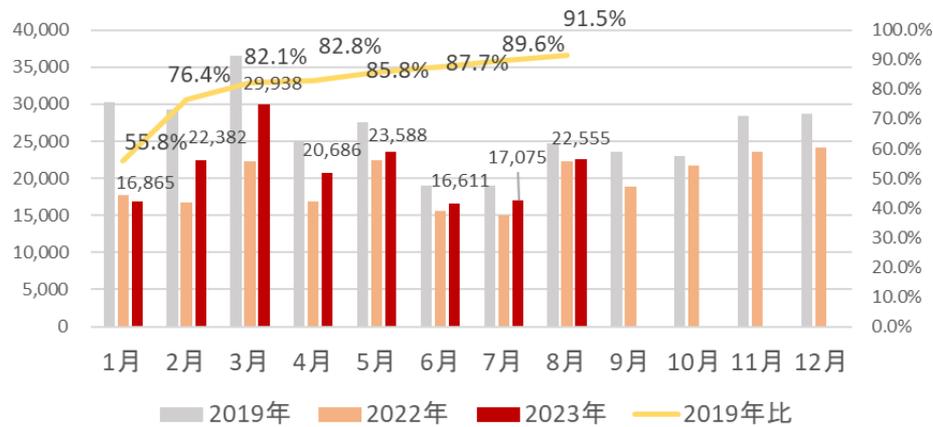
※2019年の来場者数自体には、2022年・2023年時点で改装中の施設（ポートタワー・須磨海浜水族園）を含んで記載。

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

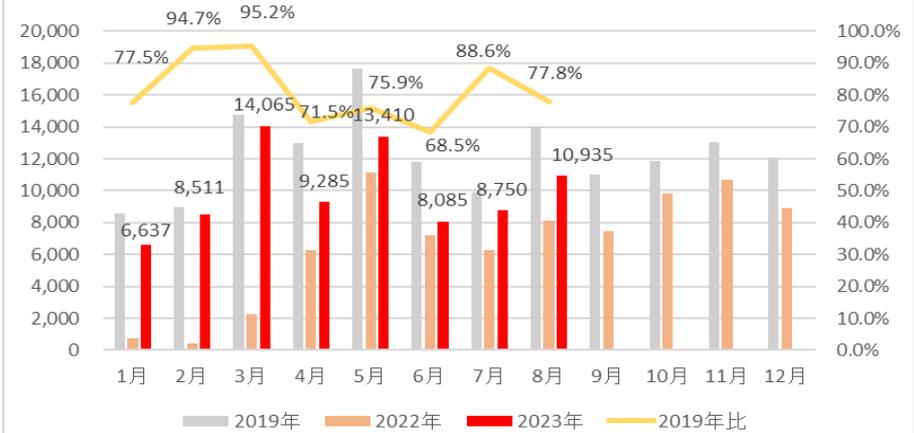
集計対象施設：全21施設（ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など）

# 所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

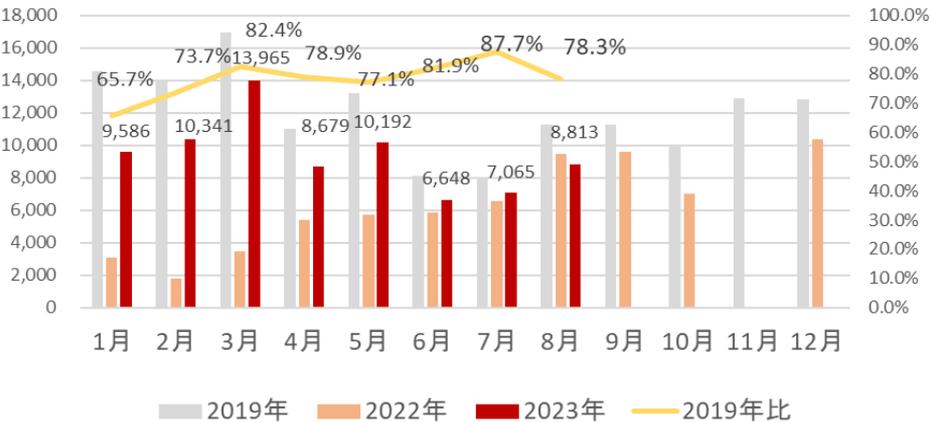
## 金の湯



## 萌黄の館



## 銀の湯



### 【コメント】

2019年比、全体では77.8%。  
中国人観光客が増加傾向。



### 【コメント】

猛暑の影響で昼間の来館者数が伸びなかったが、  
夕方以降来客増のおかげで全体として昨年を上回る人数となった。



# 神戸市内大型施設の主な催事情報(10～11月) 9月20日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出  
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記  
 ※神戸観光局経営推進部調べ



10月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	9月30日～10月1日 第6回日本腫瘍循環器学会 学術集会		1日 HyoGo!エシックス ファンミーティング2023 in autumn	6日 ゴスペラーズ 7日 SHISHAMO	7日 神戸フィルハーモニック 第86回定期演奏会	6日 第3回神戸市長距離記録会 7日 令和5年度神戸市総合スポーツ 大会体操競技
2週目	6～7日 第141回中部日本整形外科 災害外科学会・学術集会	5～7日 Techno-Ocean2023		8日 浜崎あゆみ 9日 優里 10日 三浦大知 12～13日 玉置浩二 14日 THE ALFEE	8日 神戸アンサンブルソロイ スツ 第39回定期演奏会 9日 妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼 太郎」	14日 第56回兵庫県空手道選手権大 会(後期小学生・中学生)
3週目	14日 第60回日本糖尿病学会近畿 地方会・第59回日本糖尿病 協会近畿地方会		14～15日 50th Anniversary 松任谷由実コンサートツ アー「The Journey」	15日 平原綾香 18日 堀内孝雄、渡辺真知 子、相田翔子、他 19日 舟木一夫 20日 十三代目市川團十郎	13日 山内恵介コンサートツ アー2023 15日 神戸男声合唱団第46回 定期演奏会	21日 第81回兵庫県社会人クラブ バトミントン団体リーグ戦
4週目	21日 日本超音波医学会 第50回関西地方会学術集会 22日 第34回兵庫県透析合 同研究会	19日 食品展示会 19～21日 CCT2023 22日 マイナビ仕事研究& インターンシップフェア	25日 Bリーグ 2023-24 B2 リーグ 戦 神戸ストークスVS. ライジングゼファーク福岡	27日 ディズニーオンク ラシック 28日 おかあさんといっ しょ	21日 神戸文化ホール開館50周年記 念事業「緑のテーブル2017」 26～27日 令和5年度全国学校 保健・安全研究大会	28日 幼児音体フェスティバル 2023関西大会神戸会場
5週目	28～29日 第68回全国里親大会兵庫大 会 近畿地区里親研修会兵 庫大会	25～26日 第176回2024春 日本グラウンドシューズコレ クション&全国サンダル フェア 25～26日 2024春もの日本 シューズ産業見本市	28～29日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 神戸ストークスVS. 越谷アルファーズ 31日 NET_FEST-Extra-		29日 神戸フレンドシップビッ グバンド ジャズフェスティバ ル	29日 第45回マーチングバンド関西大会
11月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール ※一部抜粋	総合運動公園 ※一部抜粋
1週目	2～5日 第31回日本消化器関連学会 (JDDW 2023)	2～5日 第31回日本消化器関連学会 (JDDW 2023)	4～5日 Bリーグ 2023-24 B2リーグ 戦 神戸ストークスVS. 滋賀レイクス	2日 葉加瀬太郎	10月31～1日 劇団文化座 「炎の人」 4日 混声合唱団コーロKSC創立 30周年記念第13回定期演奏会	3～4日 全国高等学校バスケット ボール選手権大会(ウィンターカッ プ2023) 5日 糸東会関西地区選手権大会(空手)
2週目	6～7日 第45回日本バイオマテリア ル学会大会		10～12日 TOHOSHINKI Bigeast FANCLUB EVENT 2023 ～WHITE GARDEN～		10日 書と音楽の集い 11日 神戸市室内管弦楽団第 160回定期演奏会『ヴァイオリ ンの魔法』	10～13日 全国選抜高校テニス近畿 大会(団体)
3週目	16～17日 環境と新冷媒国際シンポジ ウム2023			12日 ゴダイゴ	15日 KOBEJAZZ100 Concert Vol.2	
4週目	19日 神戸マラソン2023 23～24日 第34回日本小児整形外科学 会学術集会	19日 神戸マラソン2023		19日 クレイジーケンバン ド 20日 インド・ミュージカ ル「ムンバイ☆スター」	19日 男声合唱団コール淡水・ 神戸 第12回演奏会 23日 Ballet Company West Japan「ライモンダ」全幕	23日 神戸市バドミントン協会レ ディース第41回神戸オープン大会 25日 第47回兵庫県高等学校総合文 化祭マーチングバンド・バトントワ リング部門発表会
5週目	25～26日 第18回医療の質・安全学会 学術集会	25～26日 第18回医療の 質・安全学会学術集会 25日 あさがくナビの就職 博 インターンシップ&オー プン・カンパニー編	25～26日 CNBLUE AUTUMN CONCERT 2023 ～PLEASURES～		26日 神戸学院大学吹奏楽部 第47回定期演奏会	26日 加盟リーグ卓球大会

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

## 參考資料集

---

# 2023年8月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 8月	2023年 8月	伸率(%)	2019年 1月～8月	2023年 1月～8月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,520,134	2,156,900	-14.4	22,144,937	15,189,900	-31.4
韓国	South Korea	308,730	569,100	84.3	4,733,063	4,324,400	-8.6
中国	China	1,000,639	364,100	-63.6	6,583,524	1,272,200	-80.7
台湾	Taiwan	420,279	396,300	-5.7	3,360,344	2,589,200	-22.9
香港	Hong Kong	190,260	206,300	8.4	1,504,959	1,332,500	-11.5
タイ	Thailand	49,589	33,200	-33.0	806,386	580,600	-28.0
シンガポール	Singapore	19,698	20,300	3.1	255,497	298,300	16.8
マレーシア	Malaysia	19,827	19,200	-3.2	280,713	230,900	-17.7
インドネシア	Indonesia	16,160	20,800	28.7	257,248	251,000	-2.4
フィリピン	Philippines	31,470	38,600	22.7	364,361	367,400	0.8
ベトナム	Vietnam	43,709	50,900	16.5	337,718	396,600	17.4
インド	India	13,308	12,800	-3.8	119,470	105,300	-11.9
豪州	Australia	26,951	27,500	2.0	388,730	337,900	-13.1
米国	U.S.A.	117,828	138,400	17.5	1,149,817	1,309,400	13.9
カナダ	Canada	27,568	36,900	33.9	240,622	259,000	7.6
メキシコ	Mexico	4,800	8,200	70.8	45,085	53,100	17.8
英国	United Kingdom	26,213	23,800	-9.2	240,839	201,000	-16.5
フランス	France	30,851	25,900	-16.0	225,795	179,100	-20.7
ドイツ	Germany	17,264	20,000	15.8	154,336	145,800	-5.5
イタリア	Italy	22,804	24,100	5.7	111,138	97,500	-12.3
スペイン	Spain	20,009	17,300	-13.5	87,202	69,800	-20.0
ロシア	Russia	8,321	3,400	-59.1	73,266	22,800	-68.9
北欧地域	Nordic Countries	7,050	6,400	-9.2	94,159	72,000	-23.5
中東地域	Middle East	6,254	8,700	39.1	59,137	70,600	19.4
その他	Others	90,552	84,700	-6.5	671,528	623,500	-7.2

※2023年5月の公表から、北欧地域(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)の推計値の公表を開始。

※中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国(サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

# 2022年9月～2023年8月訪日外客推移（2019年同月比）

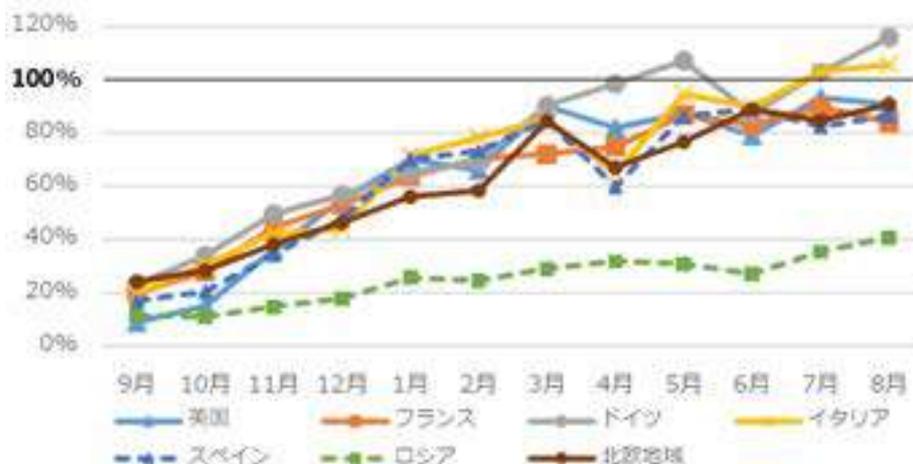
## 東アジア



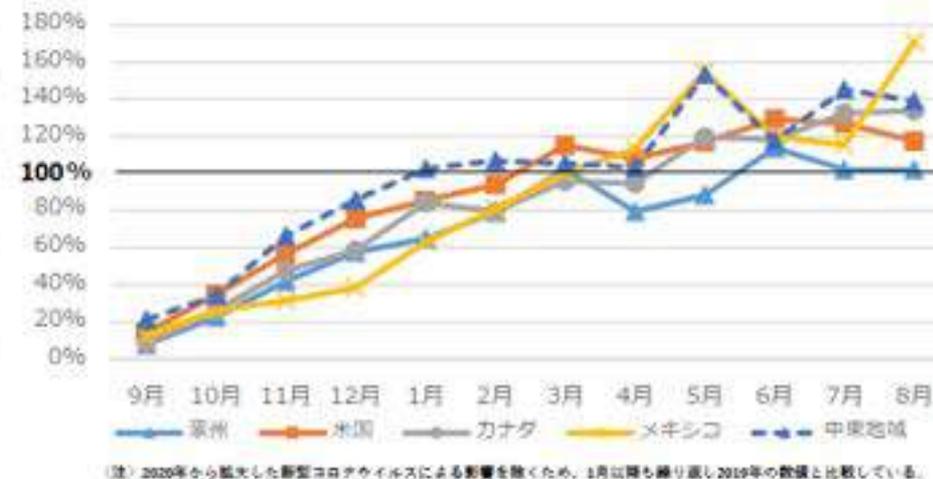
## 東南アジア



## 欧州・北欧



## 北米・豪州・中東



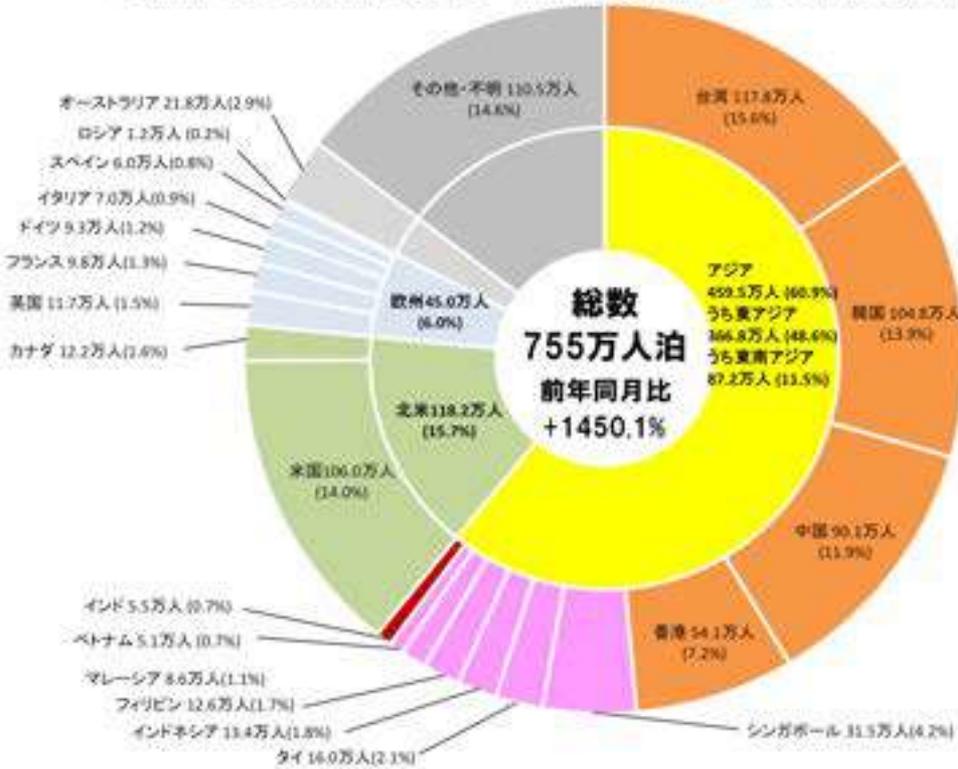
（注）2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

# 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.6月）

○令和5年5月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、第1位が韓国、第2位が米国、第3位が台湾、第4位が中国、第5位が香港で、上位5ヵ国・地域で全体の54.5%を占める。

○2019年同月比では東アジアの回復が遅いものの、東南アジアや欧米豪の一部など、上位20か国のうち半数が2019年を上回った。

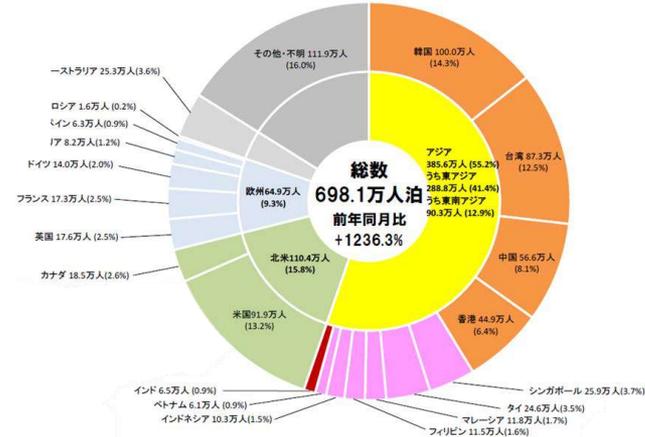
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年6月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	台湾	1,178,050	15.6%	-0.4%	+1304.2%
第2位	米国	1,059,610	14.0%	+53.8%	+755.4%
第3位	韓国	1,048,410	13.9%	+1.8%	+3341.9%
第4位	中国	901,280	11.9%	-65.7%	+2765.7%
第5位	香港	540,580	7.2%	-7.3%	+1734.2%
第6位	シンガポール	315,200	4.2%	+38.9%	+1871.2%
第7位	オーストラリア	218,450	2.9%	+28.3%	+2929.8%
第8位	タイ	159,780	2.1%	-2.8%	+1964.3%
第9位	インドネシア	133,830	1.8%	-36.1%	+1834.0%
第10位	フィリピン	126,100	1.7%	+39.5%	+806.5%
第11位	カナダ	122,260	1.6%	+76.8%	+2033.7%
第12位	英国	116,810	1.5%	+8.7%	+1093.2%
第13位	フランス	98,270	1.3%	-3.0%	+931.2%
第14位	ドイツ	92,730	1.2%	+22.4%	+694.6%
第15位	マレーシア	86,270	1.1%	-3.0%	+1653.5%
第16位	イタリア	69,720	0.9%	+12.0%	+1267.1%
第17位	スペイン	60,370	0.8%	-1.0%	+2305.2%
第18位	インド	54,620	0.7%	-5.0%	+518.6%
第19位	ベトナム	50,840	0.7%	-25.9%	+67.0%
第20位	ロシア	12,050	0.2%	-62.2%	+736.8%
	その他	757,400	10.0%	+16.5%	+755.9%
	合計	7,550,140	100.0%	-11.6%	+1450.1%

【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年5月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。  
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。  
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

# 都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023.4～2023.6)



(延べ宿泊者数単位：人泊)

## 【順位】

順位	4月			5月			6月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
1	13東京都	3,595,080	120.7%	13東京都	3,317,990	136.3%	13東京都	3,671,020	151.7%
2	27大阪府	1,305,630	77.7%	27大阪府	1,470,150	95.6%	27大阪府	1,542,410	98.1%
3	26京都府	1,209,180	84.0%	26京都府	990,340	95.8%	26京都府	975,890	99.0%
4	47沖縄県	337,970	49.7%	40福岡県	336,350	97.8%	01北海道	464,340	71.5%
5	12千葉県	324,750	70.0%	01北海道	364,230	60.6%	40福岡県	423,400	107.3%
6	40福岡県	308,270	75.8%	47沖縄県	334,900	49.2%	47沖縄県	364,910	51.7%
7	01北海道	307,080	64.4%	12千葉県	236,790	56.1%	12千葉県	322,520	69.5%
8	14神奈川県	247,050	79.8%	14神奈川県	202,570	79.3%	14神奈川県	209,900	86.2%
9	23愛知県	163,220	48.7%	23愛知県	146,170	46.6%	23愛知県	163,700	48.6%
10	34広島県	152,090	84.2%	34広島県	110,880	89.0%	44大分県	92,690	99.7%
11	20長野県	141,030	91.7%	20長野県	107,870	71.3%	34広島県	91,460	93.0%
12	19山梨県	139,520	61.5%	21岐阜県	106,880	69.3%	19山梨県	90,850	52.9%
13	17石川県	130,690	106.8%	17石川県	102,380	106.7%	28兵庫県	78,110	64.6%
14	21岐阜県	112,920	60.7%	19山梨県	100,050	55.9%	22静岡県	75,440	34.4%
15	44大分県	105,700	90.4%	44大分県	92,320	91.7%	21岐阜県	73,830	62.8%
16	28兵庫県	102,300	78.8%	28兵庫県	91,950	77.7%	17石川県	73,660	106.5%
17	22静岡県	98,960	44.6%	22静岡県	74,110	33.5%	43熊本県	72,670	98.0%
18	43熊本県	80,310	90.9%	43熊本県	72,940	94.9%	20長野県	68,970	71.3%
19	04宮城県	54,410	88.3%	37香川県	38,890	48.7%	04宮城県	44,450	105.7%
20	30和歌山県	46,470	55.7%	04宮城県	38,650	101.7%	42長崎県	36,790	51.2%
21	42長崎県	46,290	53.4%	30和歌山県	38,580	56.2%	37香川県	35,990	68.2%
22	09栃木県	46,000	116.5%	42長崎県	34,890	46.1%	30和歌山県	33,710	62.5%
23	37香川県	39,440	63.0%	09栃木県	34,570	119.9%	09栃木県	30,690	157.1%
24	02青森県	34,300	92.6%	16富山県	33,790	57.0%	33岡山県	24,130	58.0%
25	16富山県	30,280	55.4%	29奈良県	28,660	56.1%	16富山県	23,980	72.8%
26	33岡山県	29,580	54.6%	33岡山県	23,180	55.9%	46鹿児島県	23,190	38.3%
27	03岩手県	26,920	88.7%	46鹿児島県	22,810	33.1%	29奈良県	21,140	47.1%
28	46鹿児島県	26,890	35.5%	38愛媛県	16,670	91.2%	07福島県	17,290	169.3%
29	29奈良県	25,550	38.8%	15新潟県	16,390	92.2%	03岩手県	16,540	99.9%
30	10群馬県	24,270	68.1%	11埼玉県	14,840	83.0%	15新潟県	15,110	83.4%

順位	4月			5月			6月		
	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比	都道府県	延べ宿泊者数	2019年同月比
31	24三重県	22,290	55.4%	08茨城県	14,720	69.1%	10群馬県	14,590	71.5%
32	15新潟県	21,200	65.3%	10群馬県	14,150	46.0%	25滋賀県	14,190	43.7%
33	07福島県	19,850	58.4%	07福島県	14,020	118.3%	02青森県	13,820	70.7%
34	38愛媛県	19,330	85.0%	25滋賀県	13,820	36.8%	38愛媛県	13,810	99.3%
35	08茨城県	18,720	71.3%	24三重県	12,820	38.0%	11埼玉県	13,720	74.8%
36	25滋賀県	17,650	33.4%	41佐賀県	12,190	37.8%	08茨城県	13,250	84.9%
37	11埼玉県	16,680	60.9%	02青森県	12,030	55.3%	24三重県	12,880	33.3%
38	36徳島県	15,040	113.8%	03岩手県	11,470	52.8%	41佐賀県	9,970	31.5%
39	41佐賀県	12,930	37.3%	36徳島県	10,720	94.0%	39高知県	8,280	118.5%
40	39高知県	11,470	145.7%	39高知県	10,030	138.3%	36徳島県	8,100	83.4%
41	06山形県	10,680	59.0%	45宮崎県	7,960	30.7%	05秋田県	6,940	98.3%
42	45宮崎県	9,890	37.2%	35山口県	6,490	73.0%	45宮崎県	6,770	31.2%
43	05秋田県	8,170	55.6%	06山形県	6,480	62.7%	06山形県	6,100	52.4%
44	35山口県	7,330	64.4%	18福井県	6,450	71.4%	35山口県	5,670	69.0%
45	18福井県	6,930	60.9%	05秋田県	4,420	58.9%	31鳥取県	4,990	32.2%
46	31鳥取県	5,110	32.8%	32島根県	3,840	46.0%	32島根県	4,080	42.2%
47	32島根県	4,110	45.0%	31鳥取県	3,520	24.1%	18福井県	3,690	42.7%
全国		9,519,560			8,765,940			9,339,670	

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(令和5年6月・第2次速報)

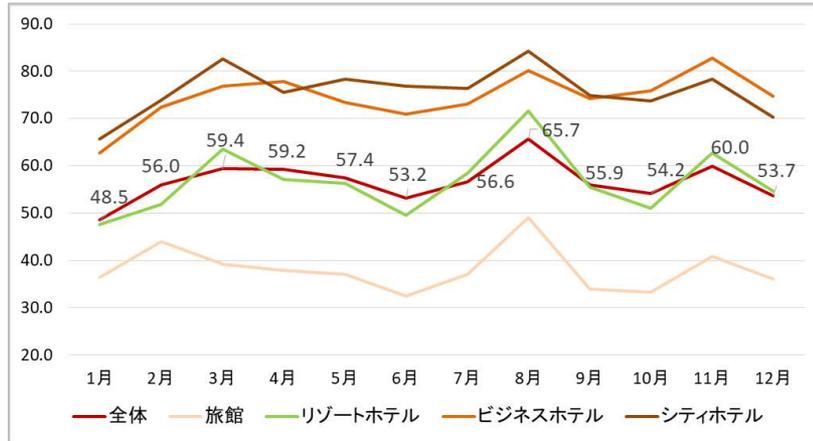
- 外国人延べ宿泊者数の1～3位は、4月以降、東京都、大阪府、京都府の順となっている。
- トップ5では、東京、大阪、京都、福岡がコロナ前と同水準まで回復。
- 兵庫県は、2019年6月比では6割程度の回復率であったものの、延べ宿泊者数の順位としては、16位(5月)⇒13位(6月)に上昇。
- 神戸と同様に政令市の横浜市、名古屋市がある神奈川県、愛知県は、それぞれ約8割、約5割の回復率となっており、地域によってばらつきが生じている。

# 宿泊タイプ別客室稼働率

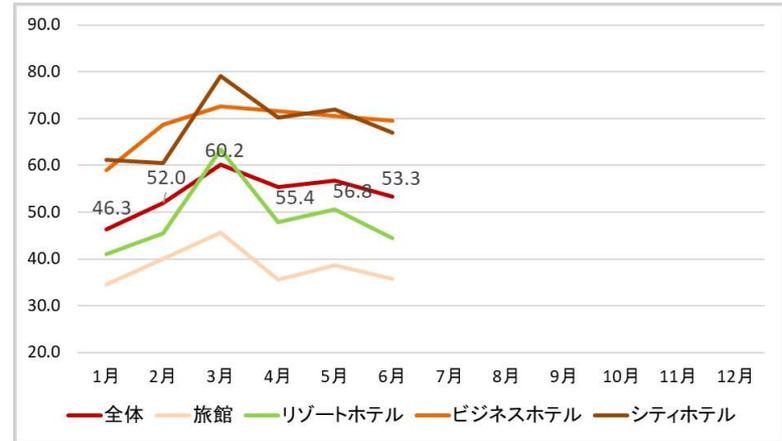
2019年／2023年比較

## 【兵庫県】

(2019年)

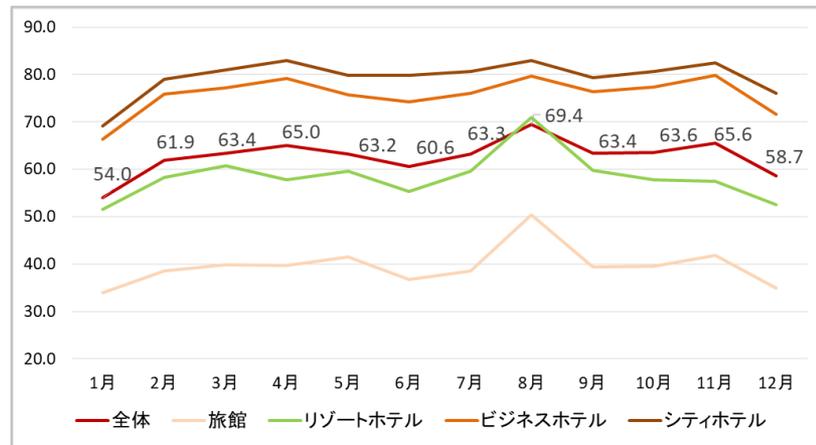


(2023年)

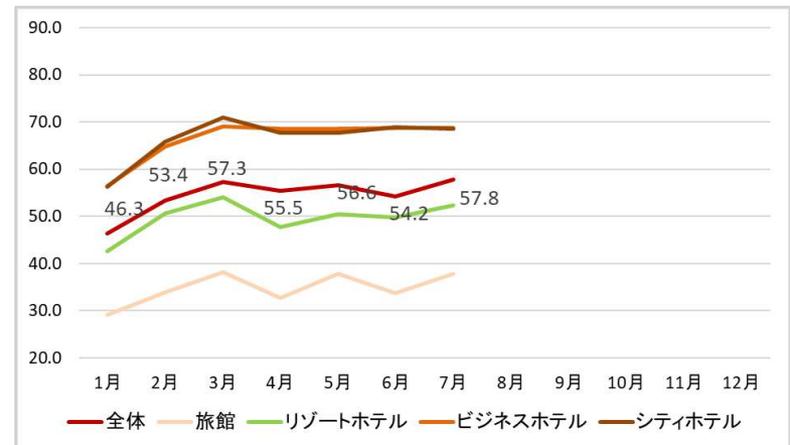


## 【全国】

(2019年)



(2023年)



## 世界の運航状況

2019年9月1週目比 2023年9月1週目比

地域	2019年9月1週目比	2023年9月1週目比
世界	-2.2%	-2.1%
西欧	-2.6%	-0.7%
東欧	-16.4%	-3.4%
北米	1.5%	-1.2%
中米	14.7%	-7.6%
南米	-0.6%	-1.0%
東アジア	-2.9%	-4.4%
東南アジア	-17.1%	-1.8%
中東	2.5%	-1.7%
太平洋(豪州ほか)	-4.8%	0.0%

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

世界の運航状況は、中国国内で前週比大幅な減少や、ブラジル国内市場の削減により総数が減少傾向になっている。

## 世界の座席利用率(2023年7月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	81.6% -1.3p	73.9% 1.4p	日本	72.7% 0.9p
欧州	87.7% -1.3p	87.0% -2.0p	中国	79.2% -5.7p
北米	89.7% 1.0p	90.3% 2.4p	インド	83.3% -3.3p
中南米	86.7% 1.6p	89.1% 3.5p	米国	89.2% -0.1p
中東	82.1% 0.8p	79.8% 3.4p	豪州	83.2% 0.0p
合計	85.2% -0.p	82.6% 1.3p	合計	84.5% -1.7p

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

7月の座席利用率は2019年と比較すると回復傾向で、各国の国内線では合計で84.5%となっている。

# 関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年8月～2023年7月) 9月11日時点



関西国際	2022年 8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総旅客数(人)	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841	1,651,773	1,808,219	1,892,675	2,123,912
2019年比(%)	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39	-40	-34	-30	-24
国際線 発着数(回)	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496	8,227	8,660	8,786	9,663
2019年比(%)	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44	-38	-36	-34	-30
外国人 旅客数(人)	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116	960,417	989,324	1,095,837	1,202,909
2019年比(%)	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43	-39	-33	-28	-22
国内線 旅客数(人)	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171	524,658	574,587	539,419	597,974
2019年比(%)	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9	-8	-4	-2	-2
神戸	2022年 8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内線発着 回数(回)	3,081	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014	2,788	2,845	2,744	3,059
2019年比(%)	+19	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21	+13	+8	+14	+19
国内線 旅客数(人)	265,021	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365	262,558	290,845	275,898	290,661
2019年比(%)	-6	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10	+4	+5	+5	+3

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典: 関西エアポートニュースリリースより作成

# 神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年8月～2023年7月)

9月11日時点



路線	内容	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
新千歳	旅客数(人)	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793	37,584	48,405	51,985	54,162
	利用率(%)	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5	62.1	77.1	85.0	86.3
青森	旅客数(人)	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965	2,654	3,674	3,550	3,566
	利用率(%)	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1	52.7	70.5	70.4	68.5
花巻	旅客数(人)	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863	2,560	3,023	3,022	3,304
	利用率(%)	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1	52.5	59.2	60.0	63.4
仙台	旅客数(人)	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112	14,971	17,174	15,719	14,945
	利用率(%)	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9	70.5	78.2	74.0	68.1
新潟	旅客数(人)	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632	209	1005	-	-
	利用率(%)	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7	62.2	85.5	-	-
茨城	旅客数(人)	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489	21,642	23,741	22,066	22,222
	利用率(%)	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5	67.9	72.1	69.3	67.5
羽田	旅客数(人)	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594	70,589	73,973	69,628	70,971
	利用率(%)	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6	81.1	82.5	79.7	79.1
松本	旅客数(人)	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479	5,912	7,350	6,729	7,489
	利用率(%)	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0	58.7	70.7	66.8	71.9
高知	旅客数(人)	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190	2,178	2,731	2,154	2,592
	利用率(%)	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5	43.9	52.5	42.7	49.8
長崎	旅客数(人)	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737	22,612	24,397	21,535	22,591
	利用率(%)	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2	71.0	74.1	67.0	68.6
鹿児島	旅客数(人)	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665	13,997	16,745	14,390	14,167
	利用率(%)	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4	65.9	76.3	67.7	64.5
那覇	旅客数(人)	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904	54,825	54,986	52,787	59,661
	利用率(%)	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3	72.7	69.9	75.1	72.5
下地島	旅客数(人)	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299	7,936	7,482	8,039	8,584
	利用率(%)	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7	74.7	70.5	78.3	78.2